

Panasonic®

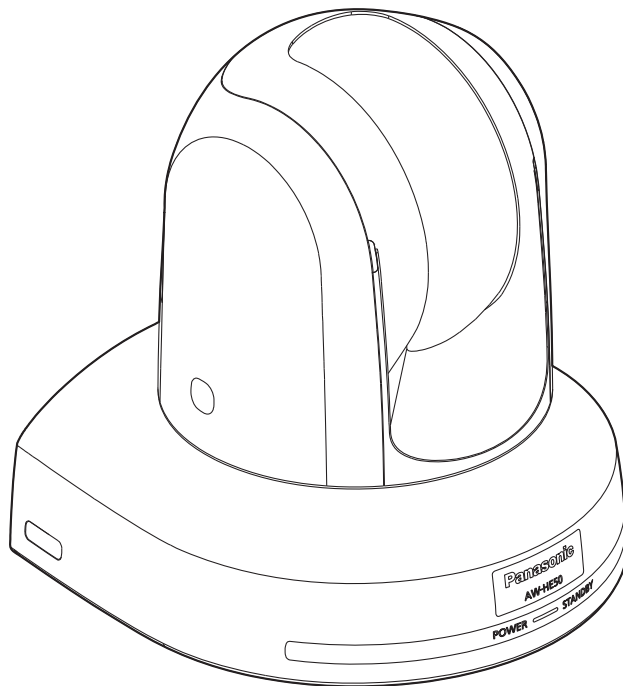
取扱説明書 基本編

工事説明付き

HD インテグレートドカメラ

品番 AW-HE50HN

品番 AW-HE50SN



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」(3～6ページ)を必ずお読みください。
- 本機の操作や設定のしかたは、付属 CD-ROM 内の「取扱説明書 操作・設定編」(PDF ファイル)をお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、説明書とともに大切に保管してください。

保証書別添付

もくじ

安全上のご注意.....	3	設置・接続のしかた.....	22
はじめに.....	7	WV-Q105（別売品）を使用する場合.....	26
概 要.....	7	ネームプレートの向きを変える.....	27
取扱説明書について.....	7	カメラの取り外しかた.....	28
必要なPCの環境.....	8	据え置き設置のしかた（取付金具を使用する場合）.....	29
商標および登録商標について.....	8	据え置き設置のしかた（取付金具を使用しない場合）.....	31
著作権について.....	8	デスクトップに設置する場合.....	31
免責について.....	9	三脚に取り付ける場合.....	31
ネットワークに関するお願い.....	9	接 続.....	32
特 長.....	10	HDモニターとの接続.....	32
対応コントローラー.....	11	コントローラー（AW-RP655/AW-RP555の いずれか）との接続.....	33
付属品.....	11	システム例1.....	34
個人情報の保護について.....	11	システム例2.....	35
設置上のご注意.....	12	ネットワークの設定を行う.....	36
使用上のお願い.....	14	ソフトウェアをインストールする.....	36
ワイヤレスリモコン（別売品）について.....	16	IP簡単設定ソフトウェアを 使用して本機の設定を行う.....	36
各部の名前とはたらき.....	17	故障と思ったら.....	38
カメラ部.....	17	外形寸法図.....	44
ワイヤレスリモコン（別売品）.....	19	定 格.....	45
リモコンIDの設定.....	21	保証とアフターサービス.....	47

取扱説明書の構成について

- 本機の取扱説明書は、基本編（本書）と操作・設定編（CD-ROM）に分かれています。
本機を設置する前に、必ず基本編をお読みいただき、正しく設置してください。
- 本書では、設置のしかたとネットワークの接続・設定のしかたについて説明しています。
本機の操作や設定のしかたは、付属CD-ROM内の「取扱説明書 操作・設定編」（PDFファイル）をお読みください。
PDFファイルをお読みになる場合には、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®が必要です。

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して説明しています。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



気をつけていただく内容です。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事は技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 設置、移設、電源工事は、必ず販売店にご依頼ください。

分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、においがする、外部が劣化するなど、そのまま使用すると火災・落下によるけが、器物破壊の原因になります。

- 放置せずに、直ちに電源を切り、販売店にご連絡ください。












警告

<p>可燃性雰囲気中で使用しない</p> <p> 爆発し、けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>異物を入れない</p> <p> 水や金属が内部に入ると、火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p> <p>●直ちに電源を切り、販売店にご連絡ください。</p>	<p>塩害や腐食性ガスが発生する場所に設置しない</p> <p> 取付部が劣化して、落下などの事故の原因になります。</p> <p>禁止</p>
<p>回転動作中は本体部に手を触れない</p> <p> 回転部に指をとられ、けがの原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>振動のないところに設置する</p> <p> 取り付けねじやボルトがゆるみ、落下などでけがの原因になります。</p>	<p>専用の取付金具を使用する</p> <p> 落下によるけがの原因になります。</p> <p>●設置の際は、付属の専用取付金具を使用してください。</p>
<p>落下防止対策を施す</p> <p> 落下によるけがの原因になります。</p> <p>●落下防止ワイヤーを必ず取り付けてください。</p>	<p>総質量に耐える場所に取り付ける</p> <p> 取付場所の強度が不十分なとき、落下や転倒などでけがの原因になります。</p> <p>●十分な強度に補強してから取り付けてください。</p>	<p>ねじや固定機構はしっかりと締め付ける</p> <p> 締め付けが緩むと、落下などでけがの原因になります。</p>
<p>落とさない、強い衝撃を与えない</p> <p> けがや火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>定期的に点検する</p> <p> 金具やねじがさびると、落下などでけがの原因になります。</p> <p>●点検は販売店にご依頼ください。</p>	<p>取扱説明書 基本編（本書）に従って、床／天井にしっかりと取り付ける</p> <p> 落下などでけがの原因になります。</p>

安全上のご注意

必ずお守りください









警告

<p>ぶら下がらない、足場代わりにしない</p> <p> 落下などの事故の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>電源プラグのほこりなどは定期的にとる</p> <p> プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。</p> <p>●電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。</p>	<p>コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流 100 V 以外での使用はしない</p> <p> たこ足配線などで、定格を超えると、発熱による火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>
<p>電源コードは、必ずプラグ本体を持って抜く</p> <p> コードが傷つき、火災や感電の原因になります。</p>	<p>ぬれた手で、電源プラグの抜き差しはしない</p> <p> 感電の原因になります。</p> <p>ぬれ手禁止</p>	<p>電源プラグは根元まで確実に差し込む</p> <p> 差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。</p> <p>●傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。</p>
<p>アースを確実に接続する</p> <p> 付属の電源コードはアース端子付き3芯プラグです。アースに接続された3極コンセントに接続してください。アースの接続がされていないと、故障や漏電による感電の原因になります。</p> <p>●販売店にご相談ください。</p>	<p>電源コード・電源プラグを破損するようなことはしない</p> <p>(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたり、束ねたりしない)</p> <p> 傷んだまま使用すると、感電・ショート・火災の原因になります。</p> <p>禁止</p> <p>●コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。</p>	
<p>配線は、電源を切ってから行う</p> <p> 感電の原因になります。また、ショートや誤配線により火災の原因になります。</p>	<p>付属品・オプションは指定の製品を使用する</p> <p> 本体に誤って指定外の製品を使用すると、火災や事故を起こすおそれがあります。</p>	<p>指定以外の電源や電圧で使用しない</p> <p> 指定以外の電源や電圧を使用すると、火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>

安全上のご注意

必ずお守りください

警告

<p>移動させる場合は外部の接続線を外す</p> <p> 電源コードが傷つくと、火災、感電の原因になります。</p> <p>●移動させるときは、外部接続ケーブルを外したことを確認してください。</p>	<p>機器の上や周囲に水などの入った容器を置かない</p> <p> 水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。</p> <p>水ぬれ禁止</p> <p>●直ちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。</p>	<p>水場で使用しない</p> <p> 火災・感電の原因になります。</p> <p>水場使用禁止</p>
<p>湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たるような場所に置かない</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>不安定な場所に設置しない</p> <p> 落下や転倒によるけがや事故の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>ケーブルなどは引っ張らない</p> <p> 火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>
<p>ケーブルなどを傷つけない</p> <p> 重いものを載せたり、はさんだりすると、ケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。</p> <p>禁止</p>	<p>お手入れのときは電源を切る</p> <p> 感電の原因になります。</p>	

注意

<p>ラック、本棚など密閉した中に入れない</p> <p> 内部に熱がこもり、故障や火災の原因になります。</p> <p>禁止</p>		
--	--	--

はじめに

■概要

- 本製品は、新開発の1/3型フルHD MOSセンサーとデジタルシグナルプロセッサ（DSP）を採用した、コンパクトな回転台一体型フルHDカメラです。
- 光学18倍ズームレンズに加え、10倍のデジタルズームを備えており、高品質で臨場感あふれる撮影が可能です。
- TV会議などの映像配信に適したHDMIモデルAW-HE50Hと、コンテンツ制作に適したSDI出力モデルAW-HE50Sの2モデルがあり、両モデルともIP制御に加え、シリアル制御により既存のカメラコントローラーと接続が可能です。

■取扱説明書について

- 本書ではAW-HE50HNを「AW-HE50H」、AW-HE50SNを「AW-HE50S」、AW-HE50HNとAW-HE50SNを総称して「AW-HE50」と記載しています。
- 同様に、AW-RP655Nを「AW-RP655」、AW-RP555Nを「AW-RP555」、AW-RP50Nを「AW-RP50」と記載しています。

はじめに

■必要なPCの環境

CPU	Intel® Core™2 DUO 2.4 GHz以上推奨
メモリー	512 MB以上 (ただし、Microsoft® Windows Vista® をお使いの場合は1 GB以上、Microsoft® Windows® 7をお使いの場合は1 GB [32ビット]または2 GB [64ビット]以上)
ネットワーク機能	10BASE-Tまたは100BASE-TX 1ポート
画像表示機能	解像度：1024×768ピクセル以上、 発色：True Color 24ビット以上
対応OSとウェブブラウザ	Microsoft® Windows® 7 Professional 64ビット日本語版*1 Microsoft® Windows® 7 Professional 32ビット日本語版*1 Windows® Internet Explorer® 8.0 日本語版*2 Microsoft® Windows Vista® Business SP1 32ビット日本語版 Windows® Internet Explorer® 7.0 日本語版 Microsoft® Windows® XP Home Edition SP3 日本語版*3 Microsoft® Windows® XP Professional Edition SP3 日本語版*3 Microsoft® Internet Explorer® 6.0 SP3 日本語版 ※1：Windows® XP互換モードでは使用できません。 ※2：Internet Explorer® 8.0 64ビット版では使用できません。 ※3：Microsoft® Windows® XP Professional x64 Editionには対応していません。
その他	CD-ROMドライブ (取扱説明書および各種ソフトウェアを使用するため) Adobe® Reader® (CD-ROM内の取扱説明書を閲覧するため)

重要

- 必要なPCの環境を満たしていない場合には、画面の描画が遅くなったり、ウェブブラウザが操作できなくなったりするなどの不具合が発生する恐れがあります。

メモ

- Microsoft® Windows Vista®, Microsoft® Windows® 7を使用する場合に必要なPCの環境や注意事項など、詳しくは、「Windows Vista®, Windows® 7使用時の注意事項」(操作・設定編：84ページ)をお読みください。

■商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Windows 7およびInternet Explorerは、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel、Intel Coreは、アメリカ合衆国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
- AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated (アドビシステムズ社)の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

■著作権について

本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、並びに輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

はじめに

■免責について

弊社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- ①本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- ②お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- ③お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合
- ④本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示できないことによる不便・損害・被害
- ⑤第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- ⑥登録した情報内容が何らかの原因により、消失してしまうこと

■ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- ①本機を経由した情報の漏えいや流出
- ②悪意を持った第三者による本機の不正操作
- ③悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- PCが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、ユーザー名とパスワードを設定し、ログインできるユーザーを制限する。
- 認証情報（ユーザー名、パスワード）、FTPサーバー情報、DDNSサーバー情報などをネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。
- 公衆回線を利用した接続はしない。

特 長

マルチフォーマットに対応

- 1080/59.94i、720/59.94p、480/59.94iのフォーマットをメニューで切り替えが可能。VIDEO OUT 信号を用いることで、HD フォーマットとSD フォーマットの同時出力が可能です。
- SD フォーマットでは、Squeeze (16:9)、LetterBox (16:9) または SideCut (4:3) の選択が可能。

1/3型MOSセンサー・高性能18倍ズームレンズを採用

- 新開発の1/3型フルHD MOSセンサーとDSP (Digital Signal Processor) を搭載。多彩な映像処理で、高画質な映像が得られます。
- 光学18倍ズームレンズに加え、10倍のデジタルズームを備え、高画質で臨場感溢れる映像が得られます。
- 白とびや黒つぶれを補正するダイナミックレンジストレッチ (DRS)、暗い場所でも残像を抑えてクリアに撮影する新ハイブリッドデジタルノイズリダクション (Hybrid DNR) を搭載し、幅広い用途で鮮明な映像を再現します。

高性能回転台との一体型で快適操作

- 90°/sの高速動作。
- パン範囲：±175°、チルト範囲：-30°～+90°の広い旋回角度。
- 騒音レベルNC35 (通常速度)、NC40 (プリセット時) の静かな動作。
- 最大100ポジションのプリセットメモリーが可能。(使用するコントローラーによって、プリセットメモリー数は異なります。)

現行の当社製コントローラーとの高い親和性で、フレキシブルなシステム構築を実現

- 現行の当社製コントローラー (AW-RP655、AW-RP555、AW-RP50) からシリアル制御で最大5台までの本機の操作が可能。(コントローラーは、本機に対応するためのバージョンアップが必要な場合があります。本機とコントローラー間の最大距離は1000mです。映像信号の延長には外部機器などでの対応が別途必要です。)
- 現行の当社製カメラや回転台システムとの併用も可能で、既存システムを活用した柔軟なシステム構築が行えます。

回転台・カメラ・レンズ一体型で、簡単設置

- カメラ・レンズ・回転台を一体型にすることで、設置施工時間を大幅に短縮しました。

簡単操作なワイヤレスリモコン (別売品) が使用可能

- 本機を最大4台まで操作できるワイヤレスリモコンを使用できます。各種機能の設定や切り替えも、メニュー画面を見ながら簡単に行うことができます。

かんたん接続&設置で柔軟なカメラレイアウト

- IP制御と軽量な本体、ひとりで施工 (屋内限定) できるターンロック機構で優れた接続性・設置性を実現しました。

コンパクトな本体設計で省エネルギーを追求

- 小型・軽量化により、低消費電力を実現し、複数台のカメラ接続も安心。

IPコントロールによる簡単接続・設定

- 当社製コントローラー (AW-RP50) からIP接続により、最大100台までの本機の操作が可能です。(LANケーブルの最大長は、100mまでです。)
- IPアドレスの自動認識や割付変更により、従来のシリアルインターフェースによるカメラ、コントローラー間の接続制限を削減するとともに、ネットワーク化により「どこでも、どのカメラでも」のフレキシブルなカメラコントロールを実現しました。

対応コントローラー

- AW-RP655
- AW-RP555
- AW-RP50

※コントローラーは、本機に対応するためのバージョンアップが必要な場合があります。
販売店にご相談ください。

ご注意

■ AW-RP655 を接続する場合

- AW-RP655のLCDで操作するカメラメニューは使用できません。
→ 本機に接続したモニターに表示されるカメラメニューを使用してください。

■ AW-RP555 を接続する場合

- AW-RP555は、回転台に対して定期的にPOWER-ONコマンドを送信します。
このため、本機がAW-RP555から選択された場合には、Webブラウザ、IP接続のコントローラー、ワイヤレスリモコン(別売品)でSTANDBYにしても数秒後に再び電源がONします。

付属品

付属品をご確認ください。

取扱説明書 基本編(本書)	1	落下防止ワイヤー(本体に取付済み)	1
取扱説明書 操作・設定編(CD-ROM)	1	電源コード(2 m)	1
設置面用 取付金具(吊り下げ・据え置き)	1	飾りカバー	1
金具取付ねじ(バインド頭) M4 × 10 mm	4	ACアダプター	1
本体取付ねじ(平ワッシャー/スプリングワッシャー付) M3 × 6 mm	1		

個人情報の保護について

本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた個人情報に該当します。*

法律にしたがって、映像情報を適正にお取り扱いください。

*経済産業省「個人情報の保護に関する法律についての経済産業分野を対象とするガイドライン」における【個人情報に該当する事例】を参照してください。

設置上のご注意

「安全上のご注意」に記載されている内容とともに、以下の項目をお守りください。

設置工事は電気設備技術基準に従って実施してください。

本機は屋内専用です

屋外での使用はできません。

長時間直射日光のあたるところや、冷・暖房機の近くには設置しないでください。

変形、変色または故障・誤動作の原因になります。また水滴または水沫のかからない状態で使用してください。

本機は吊り下げおよび据え置きにてご使用ください

横向きや傾けた状態での使用はおやめください。

ご注意

- 付属の取付金具を取り付ける金具取付ねじ4本(M4)は、必ず付属のものを使用してください。木ねじおよびくぎ等は使用しないでください。コンクリート天井の場合は、アンカーボルト(M4用)またはAYプラグボルト(M4用)で固定してください。

推奨締付トルク M4 : 1.47 N・m (15 kgf・cm)

- 取付場所のねじ引抜強度は、1本あたり196 N (20 kgf) 以上必要です。
- 石こうボードなど強度が不十分な天井に取り付ける場合は、十分な補強を施すか、別売の天井直付金具WV-Q105を使用してください。
- 別売の取付金具を使用する場合、使用する取付金具の取扱説明書をお読みください。
- カメラヘッド部分を持って作業しないでください。故障の原因になります。



据え置き設置のとき



吊り下げ設置のとき

設置場所について

揺れのない安定した場所に設置してください。設置場所の揺れにより、画揺れの原因になります。

お買い上げの販売店とよくご相談のうえ、設置してください。

強度が十分ある天井(コンクリート天井など)に設置してください。

強度が不十分な天井に設置する場合は、十分な補強を施してください。

以下のような場所での設置および使用はしないでください

- 壁面(横向きの設置)
- 雨や水が直接かかる場所(軒下なども含む)
- 厨房など蒸気や油が多い場所
- 屋外や+40℃以上の暑い場所
- 0℃以下の寒い場所
- 湿度が85%以上の場所
- プールなど、薬剤を使用する場所
- 海上や海岸通り、および腐食性ガスが発生する場所
- 放射線やX線および強力な電波や磁気が発生する場所
- 車両や船舶などの振動の多い場所(本機は車載用ではありません。)
- エアコンの吹き出し口近くや外気の入り込む扉付近など、急激に温度が変化する場所

長時間安定した性能でお使いいただくために

- 高温・多湿の場所で長時間使用すると、部品の劣化により寿命が短くなります。
- 設置場所への冷房や暖房などの風が直接当たらないようにしてください。

本機の設置には、必ず付属の金具およびねじを使用してください

- 指定方法以外の取り付けは行わないでください。
- 本機に付属の取付金具や取付ねじは、改造しないでください。

AW-HE50 本体	取付条件					
	適合取付金具			天井との取り付け		
質量	品番	質量	取り付け	推奨ねじ	ねじ数	最低引抜強度(ねじ1本あたり)
約1.4 kg (取付金具含む)	直付け(付属品)	約0.23 kg	吊り下げ/据え置き	M4ねじ(付属品)	4本	196 N (20 kgf)
	WV-Q105 (別売品)	約0.15 kg	天井用	M4ねじ	4本	● カメラ本体を含めた総質量の5倍以上の取付強度を確保してください。

設置上のご注意

取付ねじの締め付けについて

- ねじやボルトは取付場所の材質や構造物に合わせてしっかりと締め付けてください。
- ねじやボルトを締めたあとは、がたつきがなく、しっかりと締められていることを確認してください。
- 所定の工具にて確実に締め付けてください。

使用しない場合は放置せず、必ず撤去してください

本機の取り外しかたについては、「カメラの取り外しかた」(28ページ)を参照してください。

設置または移設・撤去を行うときは、必ず台座部分を持って行ってください

カメラヘッド部を持ったり回したりすると、故障の原因になります。

本機にフィルター、フード、エクステンダーなどを取り付けないでください

付属の専用ACアダプターおよび電源コードを使用してください

ACアダプターと電源コードはインレットに確実に接続してください。

ACアダプターの設置について

- 天井板等に直置きしないでください。
雨漏り等で水たまりができた際に大変危険です。
補強のチャンネル材の、ほこり等がたまらない下面などにしっかりと固定してください。(26ページ参照)
- 落下の危険がないようにしっかりと固定してください。
ACアダプターの質量(約320g)に十分耐えられる強度で固定してください。

付属のACアダプターは、主電源コンセントの近くに設置し、簡単に電源プラグの抜き差しができる状態にしてください

天井のコンセント等ほこりがたまる場所で接続する場合には、トラッキング対策のため、電源プラグのほこり等を定期的に取り除いてください。

電源スイッチについて

本機に電源スイッチはありません。電源プラグをコンセントに差し込むと電源が入ります。電源を入れるとパン・チルト・ズーム・フォーカスの各動作が実行されます。また、お手入れの際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源コードの接続について

ACアダプターの電源コードは、必ず遮断装置を介した次のいずれかの方法で接続してください。

- (1) 電源制御ユニットを介して接続する。
- (2) 3.0 mm以上の接点距離を有する分電盤のブレーカーに接続する。
ブレーカーは、保護アース導体を除く主電源のすべての極が遮断できるものを使用する。
- (3) ACアダプターは、電源コンセントの近くに設置し、電源プラグを介して接続する。

アース(接地)について

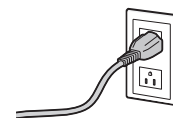
ご使用前に、アースが正しく確実に取り付けられているか確認してください。

アース端子は、接地抵抗値(100Ω以下)を確認してください。

電源プラグを2ピンに変換して使用する場合は、販売店にご相談のうえ、アース端子付きのプラグアダプターを使用し、必ず接地接続を行ってください。

この場合、アース接続は必ず電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。

また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。



ノイズ障害が考えられる場合

AC 100 V以上の電力線(電灯線)と信号ケーブルを1 m以上離して配線工事を行うか、別々の金属管に通す配管工事を行ってください。(金属管は必ずアースを取ってください。)

電波障害について

テレビやラジオの送信アンテナ、強い電界や磁界(モーターやトランス、電力線など)の近くでは、映像がゆがんだり、ノイズが入ったりすることがあります。

ケーブル配線時には、コネクター部に負荷がかからないようにしてください

故障の原因になります。

放熱について

本機は、本体表面から放熱させています。壁などに囲まれ、熱がこもる場所には設置しないでください。また、底面に放熱しているため熱くなりますが異常ではありません。

重要

- 機器の名称と電気定格は、底面に表示されています。

使用上のお願ひ

撮影は適正な照明で

美しいカラー映像を得るには、適正な照明で撮影してください。

蛍光灯の照明では、正しい色が出にくいことがあります。必要に応じて適正な照明をお選びください。

長時間安定した性能でお使いいただくために

高温・多湿の場所で長時間使用した場合は、部品の劣化により寿命が短くなります。

(推奨温度 35℃以下)

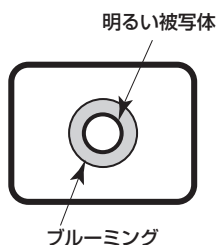
設置場所の冷房および暖房などの風が直接当たらないようにしてください。

MOS センサー色フィルターの焼き付きについて

MOS センサーの一部にスポット光のような明るい部分が当たり続けると、MOS センサー内部の色フィルターが劣化して、その部分が変色することがあります。固定監視の向きを変えると、変色が目立つ場合があります。

強い光にカメラを向けないでください

MOS センサーの一部にスポット光のような強い光が当たると、ブルーミング(強い光の周りがにじむ現象)を生じることがあります。



MOS センサーの色再現性について

被写体の色合いによっては、色再現性が悪くなる場合がありますが、故障ではありません。

高輝度の被写体では

きわめて明るい光源がレンズに向けられていると、フレアが生じることがあります。その場合は、アングルを変えるなどしてください。

オート機能使用のときは

- カメラメニューなどの Scene で「FullAuto」を選択している場合、オート設定がすべて ON となり、一部の項目でマニュアル操作ができなくなります。
- 蛍光灯下の ATW (自動追尾式ホワイト調整) 機能の使用は、ホワイトバランスが変動する場合があります。
- 場面によってはオート設定ではフォーカスが合いにくい場合があります。その場合は、マニュアル設定にして手動でフォーカスを合わせてください。
- ゲインやアイリスがオート設定のとき、明るい被写体を撮影すると適正な明るさにならない場合があります。その場合は、シャッタースピードをマニュアル設定にして調整してください。

ズーム操作とフォーカスについて

フォーカスがマニュアル設定のとき、ズーム操作時にフォーカスがずれる場合があります。

ズーム操作後、必要に応じてフォーカスを調整するか、フォーカスをオートに設定してください。

フォーカスをマニュアル設定で使用する際は、フォーカス精度の高いテレ端でフォーカス位置を合わせてからズームしてください。(ただし、被写体までの距離が 1.5 m よりも近い場合には、ワイド端でフォーカスがずれることがあります。)

ワイド端でフォーカス調整を行った後にテレ端にズームすると、フォーカスがずれる場合があります。

電源を入れたときのズームについて

本機の電源を入れたとき、ズーム、フォーカス、アイリスは電源を切る直前の位置に戻ります。(フォーカスとアイリスは、マニュアル設定の場合)

しかし動作中に電源コードを抜かれた場合などは、戻らないことがあります。

本機にはセーフモード機能があります

セーフモードは、本機の損傷を防止するための機能です。詳細については、「セーフモードについて」(操作・設定編: 83 ページ)を参照してください。

使用温度範囲は

0℃以下の寒い所や+40℃以上の暑い所では画質の低下や内部の部品に悪影響を与えますので、避けてください。

VIDEO OUT 信号について

MULTI-I/F 端子の VIDEO OUT 出力は、映像のモニタリング用途を想定しています。

HDMI について

本機は HDMI 認証機器ですが、接続される HDMI 機器によってはまれに出画しない場合があります。

カラーバーについて

- カラーバーは色位相調整用であり、バーの幅や位置が他機種と異なる場合があります。
- カラーバー表示時の Down CONV. Mode 項目は、「Squeeze」固定です。「SideCut」または「LetterBox」が選択されている場合、カラーバー表示を ON/OFF すると、映像が数秒の間表示されません。

使用上のお願い

ケーブルの抜き差しは電源を切って

ケーブルの抜き差しは、必ず機器の電源を切ってから行ってください。

取り扱いはていねいに

落としたり強い衝撃や振動を与えたりしないでください。故障の原因になります。

使用しない場合は

使用しないときは電源を切ってください。
使わなくなったら放置せず、必ず撤去してください。

光学系部には触れないで

光学系部はカメラの“命”。
光学系には絶対に触れないでください。
万一、ホコリがついた場合は、カメラ用のブローヤやレンズクリーニングペーパーで軽く清掃してください。

使用するPCについて

PCモニター上に長時間同じ画像を表示すると、モニターに損傷を与える場合があります。スクリーンセーバーの使用をおすすめします。

IPアドレスの設定について

1台のカメラに対して、複数のPCのIP簡単設定ソフトウェアから同時にIPアドレスを設定しないでください。
IPアドレスの設定がわからなくなる原因となります。

回転部に異物の混入がないようにしてください

故障の原因になります。

自己診断機能について

使用中、外来ノイズなどの影響によって異常動作が30秒以上続くと、本機は自動的にリセット動作を行い再起動します。再起動後、電源投入時と同様に初期化動作を行います。異常動作が頻繁に発生する場合は、カメラの設置環境で外来ノイズが多く発生している可能性があります。カメラの故障の原因になりますので、早めに販売店にご相談ください。

水をかけないでください

直接水をかけないでください。故障の原因になります。

お手入れは

お手入れは、電源を切ってから行ってください。
けがの原因になります。
乾いた柔らかい布でふいてください。ベンジン・シンナーなど揮発性のものをかけたり、使用したりしないでください。ケースが変色することがあります。

カメラヘッド部分を手で回さないで

カメラヘッド部分を手で回すと、故障の原因になります。

湿気、ホコリの少ない所で

湿気、ホコリの多い所は、内部の部品がいたみやすくなりますので避けてください。

廃棄のときは

本機のご使用を終え、廃棄されるときは環境保全のため、専門の業者に廃棄を依頼してください。

ワイヤレスリモコン (別売品) について

本機は、別売のワイヤレスリモコン (品番: AW-RM50G) から遠隔操作することができます。

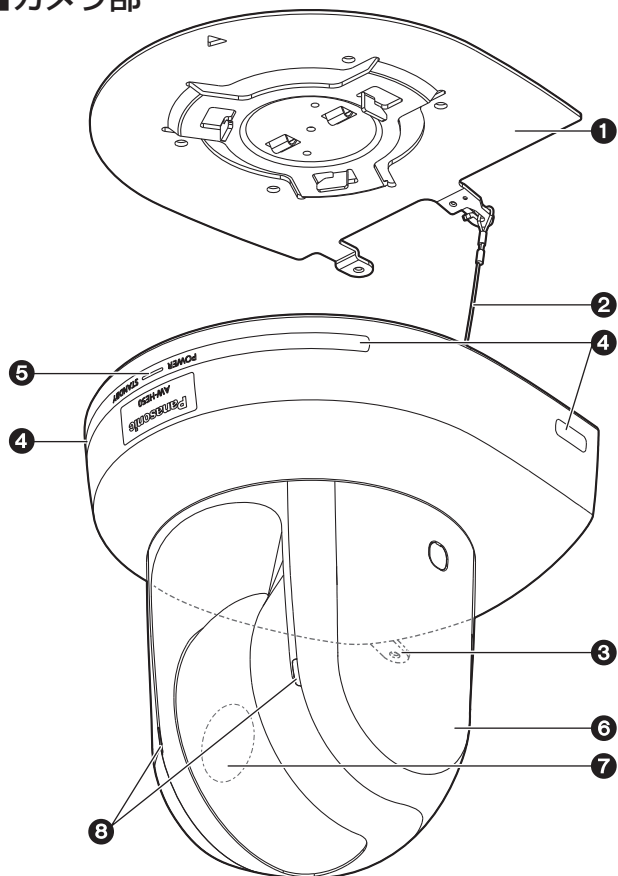
ワイヤレスリモコンは、以下の内容をご確認の上で使用ください。

ワイヤレスリモコンのご購入につきましては、販売店にご相談ください。

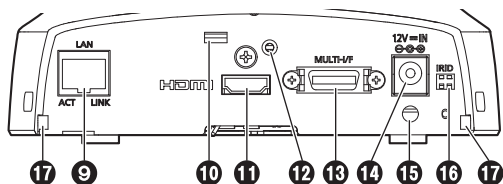
- 本機から 10 m 以内の場所でワイヤレスリモコンを操作してください。
- ワイヤレスリモコンは、本機との角度によっては動作しない場合があります。
ワイヤレスリモコン信号受光部 (以下、受光部) が見える場所から、ワイヤレスリモコンの信号発光部を受光部に向けて操作してください。
特に背面方向からの操作では動作しにくくなる場合があります。
- 本機を蛍光灯やプラズマモニターなどの近くに設置した場合や、太陽の光が当たる場合、それらの光の影響によってワイヤレスリモコンで操作できないことがあります。
必ず以下の方法で設置・使用してください。
 - ・ 蛍光灯やプラズマモニター、太陽などからの光が受光部に入らないようにする
 - ・ 蛍光灯やプラズマモニターなどから離れた場所に設置する
- ワイヤレスリモコンは、電池を抜いても 10 分間程度は操作対象の選択 (最後に押した [CAM1] ~ [CAM4] ボタン) を記憶していますが、さらに時間がたつと [CAM1] ボタンを押した状態にリセットされます。

各部の名前とはたらき

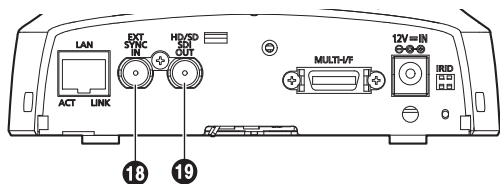
■カメラ部



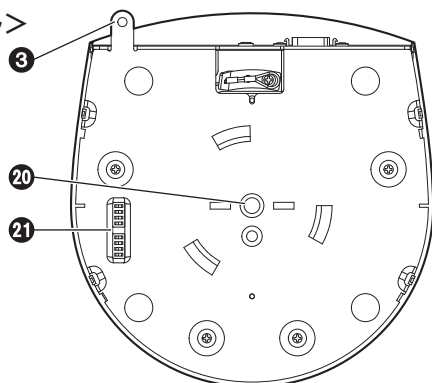
<背面パネル (AW-HE50H) >



<背面パネル (AW-HE50S) >



<底面パネル>



① 設置面用 取付金具 (付属品)

設置面に取り付けて、カメラ本体を取り付けます。

② 落下防止ワイヤー

カメラ本体の底面から引き出して、取付金具のフック部に取り付けます。

③ カメラ台座部固定用穴

カメラ台座部の底板にあります。

④ ワイヤレスリモコン信号受光部

カメラ台座部の前面および両側の4箇所にあります。

⑤ 状態表示ランプ

本機の状態によって、次のように点灯します。

橙色：待機 (STANDBY) 状態

緑色：電源 ON 時

赤色：機器異常時

緑色で2回点滅：

電源 ON 時に、ワイヤレスリモコン (別売品) からリモコンIDが一致する信号を受信しているとき

橙色で2回点滅：

電源 ON 時に、ワイヤレスリモコン (別売品) からリモコンIDが異なる信号を受信しているとき

⑥ カメラヘッド部

水平方向に回転します。

⑦ レンズ部

上下方向に回転します。

⑧ タリーランプ

タリーランプ使用設定が「ON」に設定されている場合のみコントロールの制御で点灯/消灯します。

各部の名前とはたらき

⑨ IP 制御用 LAN 端子 [LAN ACT/LINK]

外部機器から本機を IP 制御する際に接続する LAN 端子 (RJ45) です。接続には、以下のケーブルを使用してください。

ハブ (HUB) 経由の場合

LANケーブル* (カテゴリー 5 以上、ストレートケーブル) 最大 100 m

ハブ (HUB) を使用しない場合

LANケーブル* (カテゴリー 5 以上、クロスケーブル) 最大 100 m

* STP (Shielded Twisted Pair) を推奨

⑩ 盗難防止ワイヤー取付穴

ワイヤー金具を取り付けます。

⑪ HDMI 端子 [HDMI] (AW-HE50Hのみ)

HDMI 映像出力端子です。

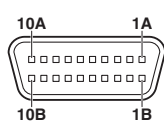
⑫ 飾りカバー固定用ねじ穴

飾りカバーを付属ねじを使って固定します。

⑬ MULTI-I/F 端子 [MULTI-I/F]

カメラの HD/SD コンポーネント映像信号、コンポジット映像信号およびカメラの制御信号端子です。

接続ケーブルは、別売のマルチインターフェースケーブルまたは DX40M-20P (ヒロセ電機製) コネクター仕様のものを使用してください。



※上図は、カメラ側の端子を外側から見た配置です。

ピン番号	信号名	ピン番号	信号名
1A	Y OUT	6A	RX+_IN
1B	Y GND	6B	RX-_IN
2A	Pb OUT	7A	TX+_IN
2B	Pb GND	7B	TX-_IN
3A	Pr OUT	8A	GND
3B	Pr GND	8B	GND
4A	VIDEO OUT	9A	RX+_OUT
4B	VIDEO GND	9B	RX-_OUT
5A	TALLY	10A	TX+_OUT
5B	T GND	10B	TX-_OUT

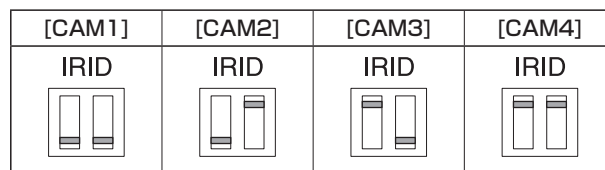
⑭ DC IN 端子 [12V IN ⊖ ⊕]

付属の AC アダプターを接続し、DC 12 V を供給します。

⑮ ケーブル抜け止めクランプ

DC IN 端子に接続したケーブルをクランプして、ケーブル抜けを防止します。

⑯ IR ID スイッチ [IRID]



ワイヤレスリモコン (別売品) のリモコン ID を選択します。

IR ID スイッチの設定「CAM1」～「CAM4」が、ワイヤレスリモコンの「CAM1」～「CAM4」ボタンに対応しています。

⑰ 飾りカバーツメ用角穴 (2 箇所)

飾りカバーの両側のツメをはめ込みます。

⑱ SYNC IN 端子 [EXT SYNC IN] (AW-HE50Sのみ)

外部同期信号の入力端子です。

本機は、BBS (Black Burst Sync) に対応しています。

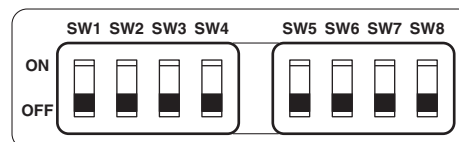
⑲ SDI OUT 端子 [HD/SD SDI OUT] (AW-HE50Sのみ)

SDI 映像信号の出力端子です。

⑳ カメラ取付用ねじ穴 (ねじ: 1/4-20UNC)

三脚等に固定する場合に、このねじ穴を使用します。

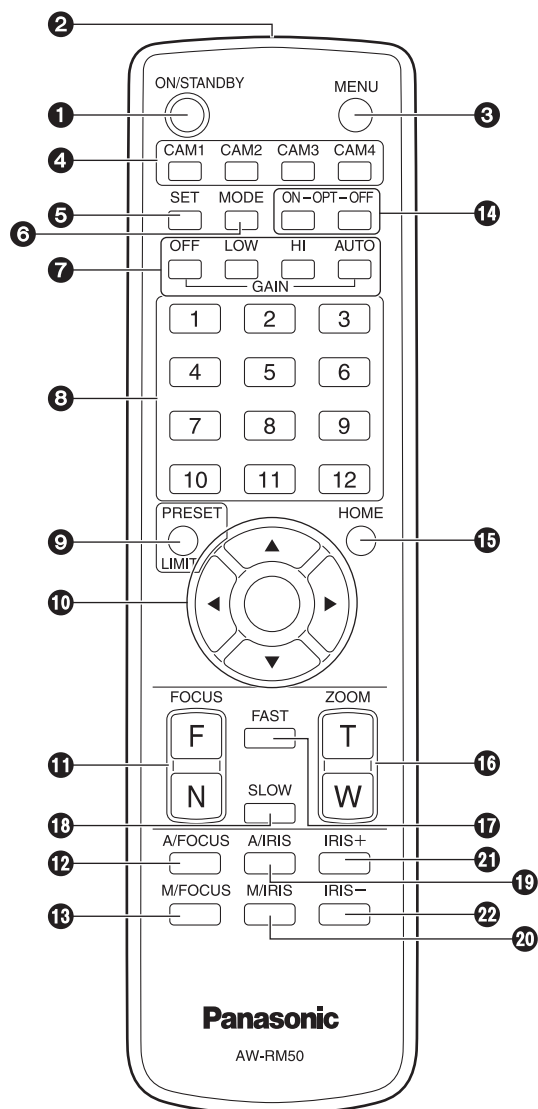
㉑ サービススイッチ



すべて「OFF」の位置にして使用してください。

各部の名前とはたらき

■ワイヤレスリモコン (別売品)



1 ON/STANDBY ボタン

2秒間押すごとに、本機の電源ONと待機状態(STANDBY)を切り替えます。

ご注意

- STANDBYモード移行時：現在のパンチルト位置を記憶(POWER ONプリセット)し、後方を向くようにパンチルトを移動します。
- POWER ONモード移行時：STANDBYモード移行時に記憶(POWER ONプリセット)した位置にパンチルトを移動します。

2 信号発光部

3 MENU ボタン

2秒間押すごとに、本機のメニュー表示とメニュー終了を切り替えます。

メニュー表示中、このボタンを短く(2秒未満)押すと、設定変更をキャンセルします。

また、このボタンとPRESET、LIMITボタン、パンチルトボタン([▲] [▼] [◀] [▶])の操作で、パンチルトの可動範囲の制限(リミッター)の設定と解除を行います。

詳しくは、「リミッターの設定と解除」(操作・設定編：81～82ページ)を参照してください。

4 CAM1～CAM4 ボタン

操作する本機を選択します。

一度選択すると、以後は選択した本機に対して操作が可能になります。

5 SET ボタン

カメラメニューのSceneで「Manual1～3」を選択時にホワイトバランス調整でAWB AメモリーまたはAWB Bメモリーを選択しているとき、このボタンを押すと、ホワイトバランスを自動調整して、選択中のメモリーに登録します。

6 MODE ボタン

本機から出力する映像信号を切り替えます。

このボタンを押すごとに、カラーバー信号とカメラ映像の信号が切り替わります。

ご注意

- カラーバー表示時のDown CONV. Mode項目は、「Squeeze」固定です。「SideCut」または「LetterBox」が選択されている場合、カラーバー表示をON/OFFすると、HDMI出力が数秒間表示されません。

7 GAIN ボタン [OFF] [LOW] [HI] [AUTO]

ゲインを設定します。

[OFF]、[LOW]、[HI]ボタンで、ゲインアップを3段階で設定できます。

[LOW]は9 dB、[HI]は18 dBに設定されます。

また、[AUTO]ボタンを押すとAGC機能が動作し、光量によりゲインが自動で調整されます。

AGC機能の最大ゲインは、メニューで設定できます。

8 プリセットメモリー呼び出しボタン [1]～[12]

本機のプリセットメモリー No.1～12に登録されている、本機の向きなどの情報を呼び出し、再現します。

ワイヤレスリモコンからプリセットメモリー No.13以上を呼び出すことはできません。

各部の名前とはたらき

⑨ PRESET、LIMIT ボタン

プリセットメモリーの登録やリミッターの設定・解除をします。

このボタンを押しながらプリセットメモリー呼び出しボタンを押すと、現在の向きなどの情報を登録します。プリセットメモリー呼び出しボタンの[1]～[12]は、本機のプリセットメモリー No.1～12に対応しています。

また、このボタンとMENUボタン、パン・チルトボタン([▲] [▼] [◀] [▶])の操作で、パン・チルトの可動範囲の制限(リミッター)の設定と解除を行います。

詳しくは、「リミッターの設定と解除」(操作・設定編：81～82ページ)を参照してください。

⑩ パン・チルトボタン／メニュー操作ボタン

[▲] [▼] [◀] [▶] [○]

(1) 本機の向きを変えます。

[▲] [▼] ボタンで上下方向(チルト)、[◀] [▶] ボタンで左右方向(パン)に動きます。

このとき[○]ボタンは、機能しません。

[▲]または[▼]ボタンと、[◀]または[▶]ボタンを同時に押すと、斜め方向に動きます。

(2) 本機がメニューを表示しているときは、メニュー操作を行います。

[▲] [▼] ([◀] [▶]) ボタンで項目の選択を行います。

選択した項目にサブメニューがあるときは、[○] ボタンを押すと、サブメニューが表示されます。

最下層の設定画面で、任意の項目にカーソルを合わせて[○]ボタンを押すと、選択した項目の設定値が点滅します。

[▲] [▼] ([◀] [▶]) ボタンで設定値の変更を行った後[○]ボタンを押すと、点滅が止まり設定が確定されます。

通常のメニューは、点滅表示状態で設定値を変更したらすぐに設定が反映されますが、[○]ボタンを押して点滅が止まり設定が確定された場合に反映されるメニュー(Scene、Format、Initialize)もあります。

また、点滅表示状態でMENUボタンを短く(2秒未満)押すと、変更がキャンセルされ変更前の設定に戻ります。

⑪ FOCUS ボタン [F] [N]

レンズのフォーカスがマニュアル設定のとき、手動でレンズのフォーカスを調整します。

[F] ボタンで遠く(Far)へ、[N] ボタンで近く(Near)へフォーカスを調整します。

⑫ A/FOCUS ボタン

レンズのフォーカスを自動で調整するように設定します。

⑬ M/FOCUS ボタン

レンズのフォーカスをマニュアルで調整するように設定します。

調整は、FOCUS ボタン([F]、[N])で行います。

⑭ OPT ボタン [ON] [OFF]

将来の機能拡張用のボタンです。現在は使用しません。

⑮ HOME ボタン

2秒間押すと、本機の向き(パン・チルト)を基準位置に戻します。

⑯ ZOOM ボタン [T] [W]

レンズのズームを調整します。

[T] ボタンで望遠(Tele)へ、[W] ボタンで広角(Wide)へレンズのズームを調整します。

⑰ FAST ボタン

パン・チルト、ズーム、フォーカスの各動作速度を、高速側に切り替えます。(最高速の約60%の速度)

ご注意

- プリセットメモリーを呼び出したときのパン・チルトの動作速度は、カメラメニューのPreset Speed項目で変更できます。

⑱ SLOW ボタン

パン・チルト、ズーム、フォーカスの各動作速度を、低速側に切り替えます。(最高速の約7%の速度)

⑲ A/IRIS ボタン

レンズのアイリスを光量に合わせて自動で調整するように設定します。

⑳ M/IRIS ボタン

レンズのアイリスをマニュアルで調整するように設定します。

調整は、IRIS + ボタンと IRIS - ボタンで行います。

㉑ IRIS + ボタン

レンズのアイリスを開く方へ調整します。

㉒ IRIS - ボタン

レンズのアイリスを閉じる方へ調整します。

リモコンIDの設定

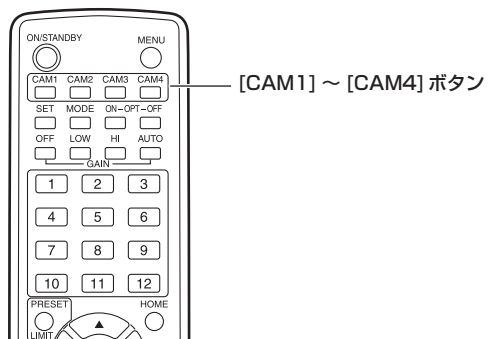
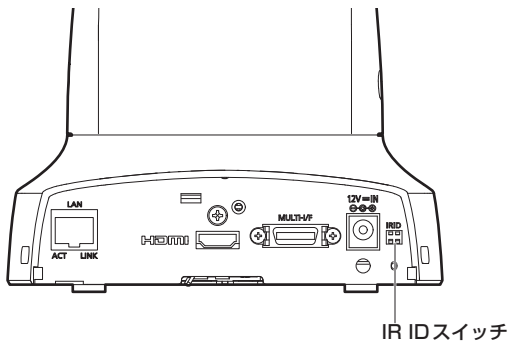
ワイヤレスリモコン（別売品）で、本機を最大4台まで操作することができます。

ワイヤレスリモコンの[CAM1]～[CAM4]ボタンのどのボタンを押したときに、どの本機を選択するかを設定します。

- 複数の本機を使用する場合は、それぞれ異なるリモコンIDに設定してください。
- 本機を1台で使用する場合は、特に変更の必要がなければ、リモコンIDを「CAM1」に設定してください。

設定方法

本機背面のIR IDスイッチを操作して、リモコンID「CAM1」～「CAM4」を選択します。（18ページ参照）
IR IDスイッチの設定[CAM1]～[CAM4]がワイヤレスリモコンの[CAM1]～[CAM4]ボタンに対応しています。（出荷時は、「CAM1」に設定されています。）



設置・接続のしかた

「設置上のご注意」(12～13ページ)を必ずお読みください。

ここでは、吊り下げ設置の手順で説明していますが、据え置き設置の場合も同じ要領で設置を行います。

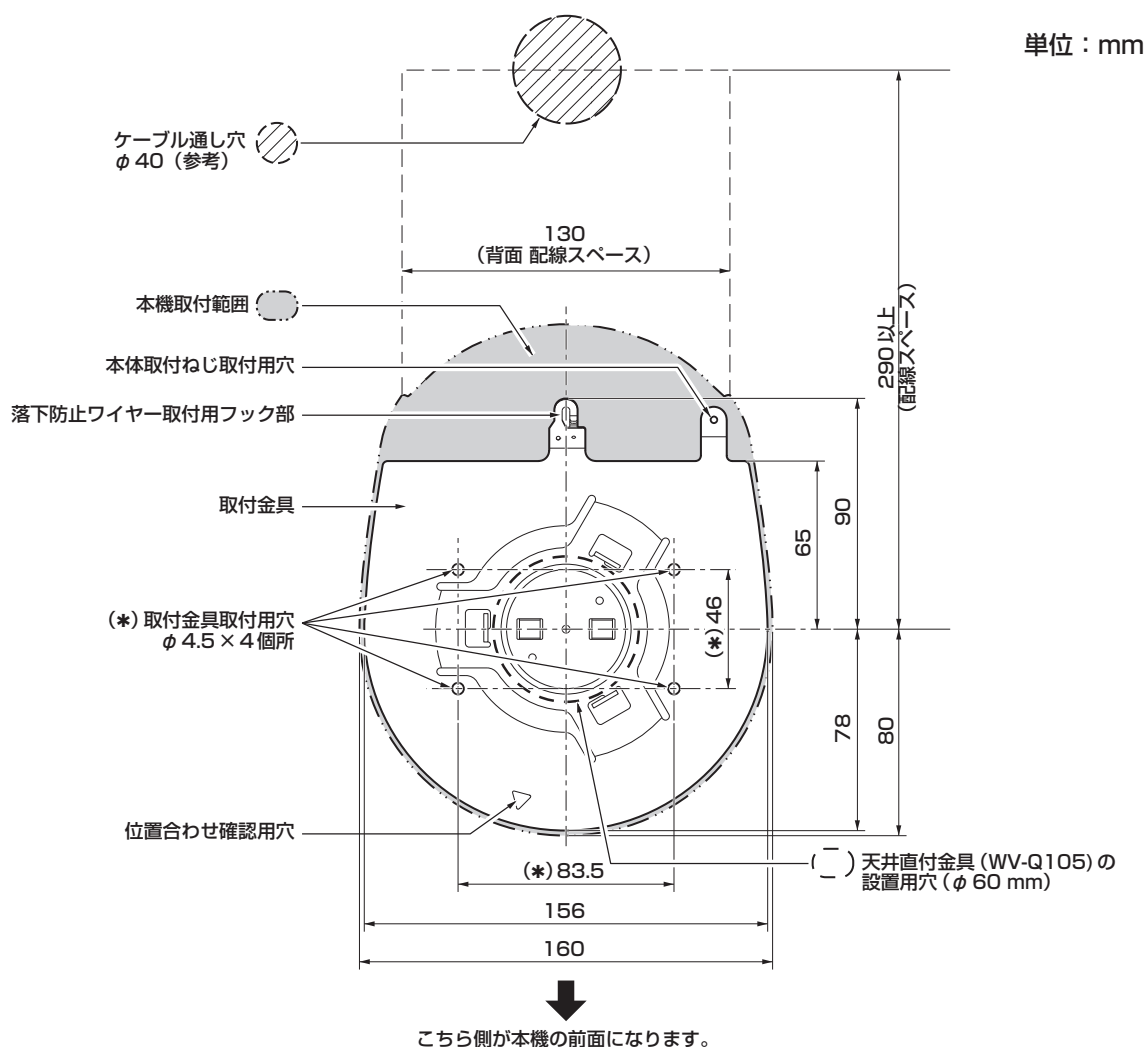
天井板の強度が確保できない場合は、コンクリート天井と天井板の間に、アンカーボルトで支える方式の取付金具を使用してください。本機は、コンビネーションカメラ専用の天井直付金具 WV-Q105 に対応しています。この金具を使用して設置してください。(26ページ参照)

その場合、天井板に天井直付金具設置用の穴(φ60 mm)を開ける加工が必要になります。

また、機器設置部の周囲に点検口等を設け、設置・配線を行うことを推奨します。

1 取付スペースを確認する

- イラストを参考にして、本機の取付範囲と背面の配線スペースを十分考慮しながら、設置場所と取付方向を決めます。
- イラスト中の(*)が、取付金具取付用穴の位置と寸法です。



ご注意

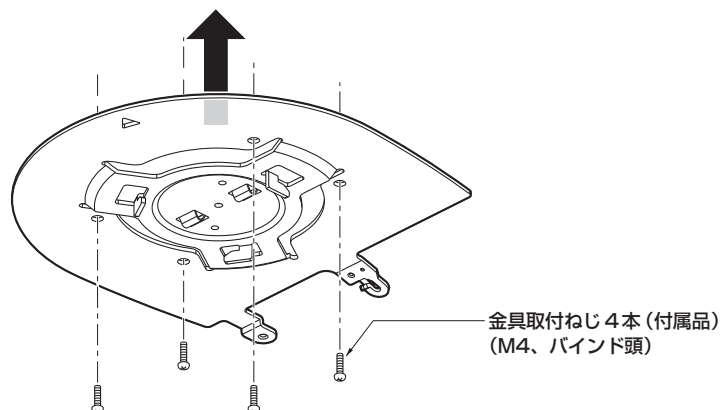
- 事前に天井内でLANケーブル、映像出力ケーブル、インターフェースケーブル、ACアダプターケーブル、同軸ケーブルを接続し、ケーブル通し穴より各ケーブルを引き出してから、本体の設置・接続の準備をしてください。
- 天井で使用するコンセントに関しては、ほこり等によるトラッキングの防止策を必ず施してください。

設置・接続のしかた

2 取付金具を設置面に取り付ける

- 付属の金具取付ねじ (M4、バインド頭：長さ 10 mm) を使います。
- ねじの締め付けトルクは、所定の工具を使って確実に取り付けてください。

ねじ径	締め付けトルク
M4	1.47 N・m (15 kgf・cm)

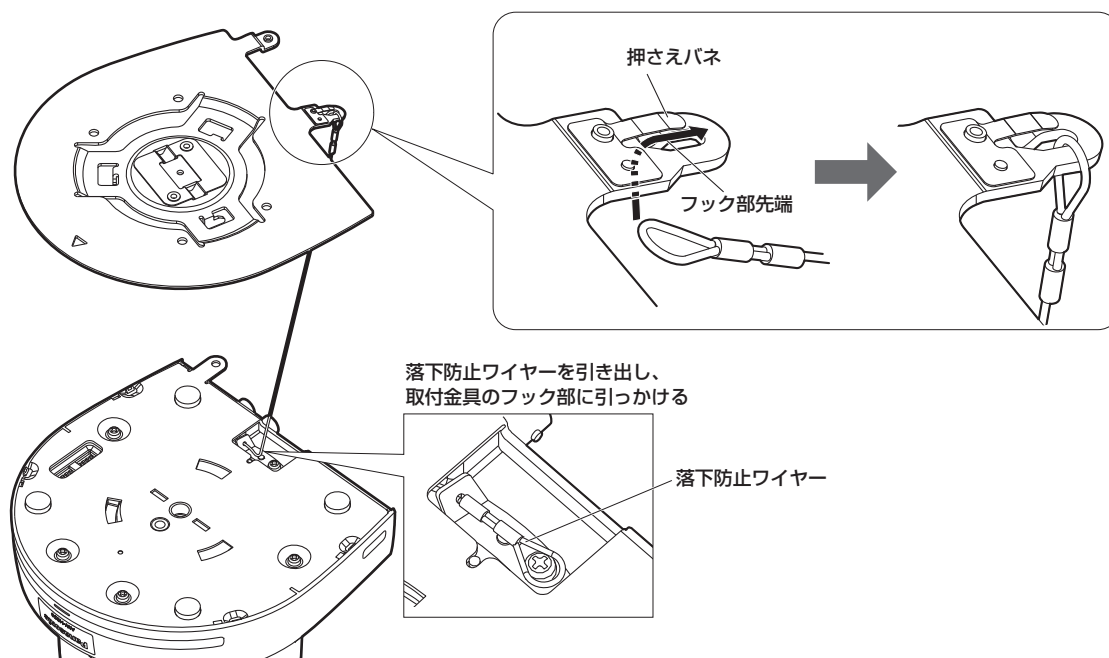


ご注意

- 付属のねじ以外 (木ねじ、くぎ等) は使用しないでください。

3 落下防止ワイヤーを取り付ける

- 本機の底面から落下防止ワイヤーを引き出し、取付金具のフック部の先端よりワイヤーの輪の部分をつまみます。
- 落下防止ワイヤーを引っ張り、確実にフック部に取り付けられていることを確認します。



ご注意

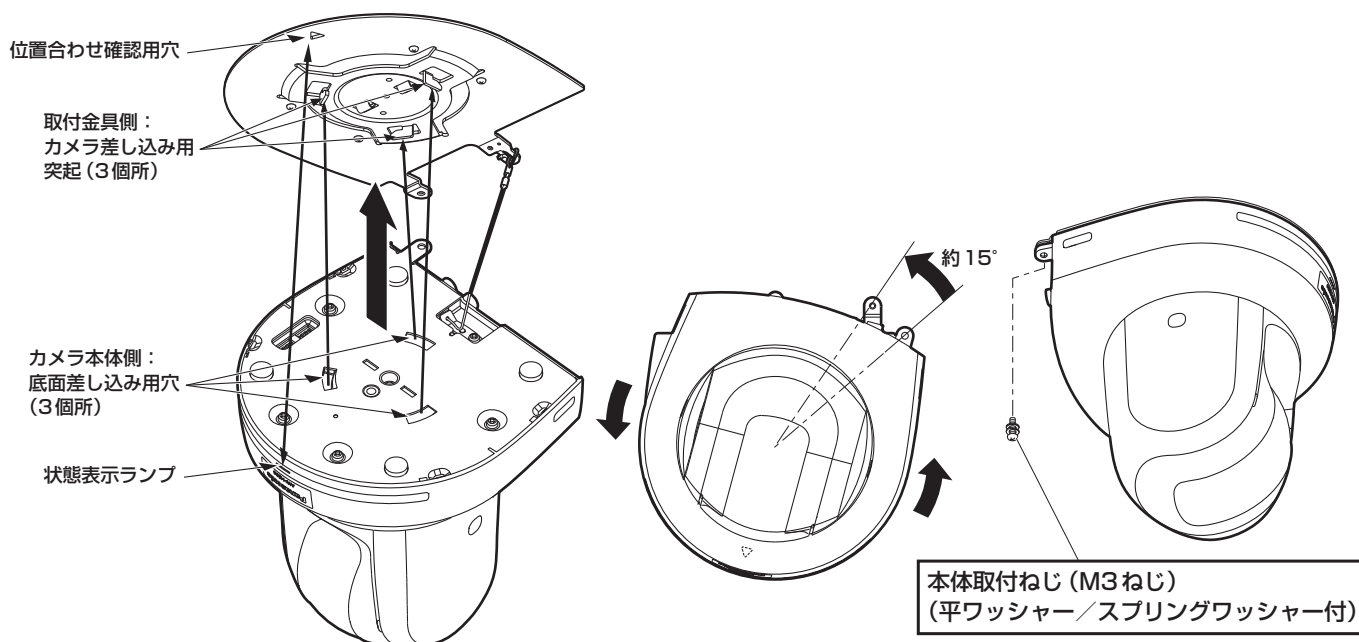
- 故障の原因になりますので、カメラヘッド部分を持って作業しないでください。
- 落下防止ワイヤーは、本機を吊り下げることを想定し設計されていますので、本機以外の負荷は加えないでください。

設置・接続のしかた

4 本機を取り付ける

- 状態表示ランプと位置合わせ確認用穴の位置を合わせます。
- カメラ本体の底面差し込み用穴を取付金具側のカメラ差し込み用突起に合わせ、本体を矢印の方向に約 15° 回します。
- 本機と取付金具を付属の本体取付ねじ (M3) で固定します。
- 下記のねじ締め付けトルクで、所定の工具を使って確実に取り付けてください。ねじにゆるみがないことを必ず確認してください。

ねじ径	締め付けトルク
M3	0.78 N・m (8 kgf・cm)



ご注意

- 故障の原因になりますので、カメラヘッド部分を持って作業しないでください。
- 付属のねじ以外は使用しないでください。
- 傾きやぐらつきがなく、しっかりと取り付けられていることを確認してください。
- 必ずケーブル類の接続前に本体取付ねじで固定をしてください。

5 取り付けの確認をする

以下の点についてご確認ください。

- 本体取付ねじが確実に取り付けられていること
- 傾きがなく、きちんと取り付けられていること
- ぐらつかないこと
- カメラ台座部を回しても回らないこと

設置・接続のしかた

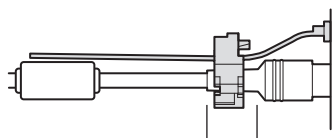
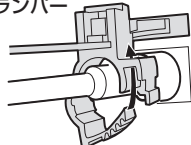
6 背面のコネクター類を接続する

ACアダプターケーブルは、ケーブルクランパーで固定してください。

●DCプラグの固定方法

① ケーブルクランパーを仮止めする。

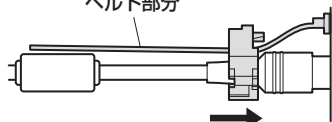
ケーブルクランパー



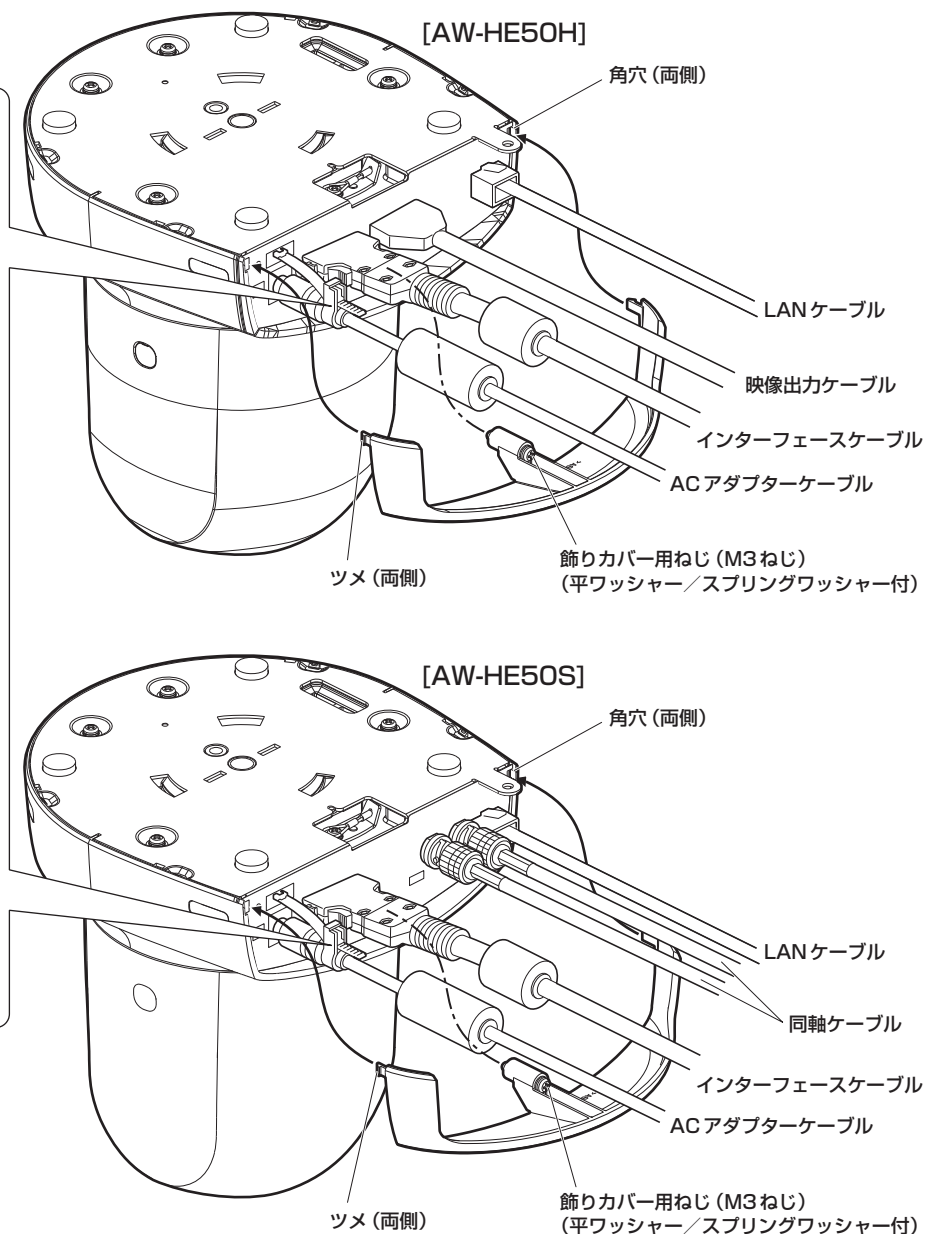
ケーブルクランパーをこの範囲に仮止める。

② ケーブルクランパーを固定する。

ベルト部分



ベルト部分を持ちながらケーブルクランパーを止まるまでスライドさせ、しっかりと固定する。



7 飾りカバーを取り付ける

- 飾りカバーのツメ2箇所を背面パネルの両側にある取付用角穴にはめ込みます。
- 飾りカバーに付属のねじ (M3 × 20 mm) で固定します。

ねじ径	締付トルク
M3	0.78 N・m (8 kgf・cm)

ご注意

- 飾りカバーのツメが完全に入り込み、がたつきがないことを確認してください。

設置・接続のしかた

■WV-Q105（別売品）を使用する場合

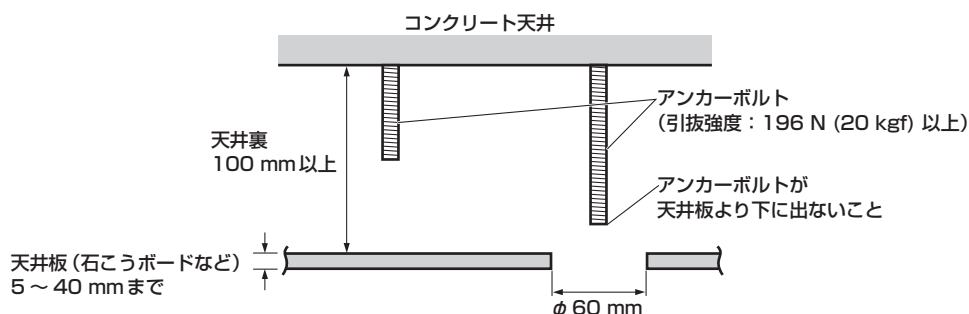
機器設置部の周囲に点検口等を設け、設置・配線を行うことを推奨します。

設置場所は、カメラ取付時の総質量（約2.0 kg）に十分耐えられる強度を持っていることを確認してから取り付けてください。

天井裏の高さが、100 mm以上あるところでご使用ください。

天井板の厚さは、5～40 mmの範囲で取り付けが可能です。

必ず落下防止ワイヤー（WV-Q105に付属）を使って取り付けてください。



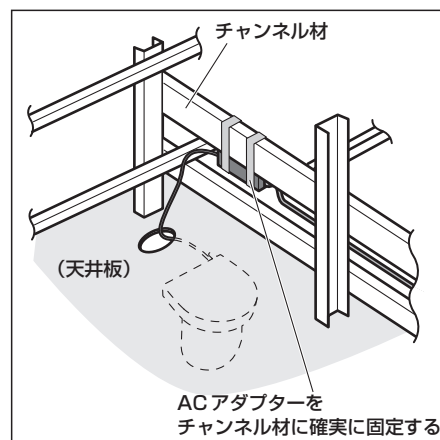
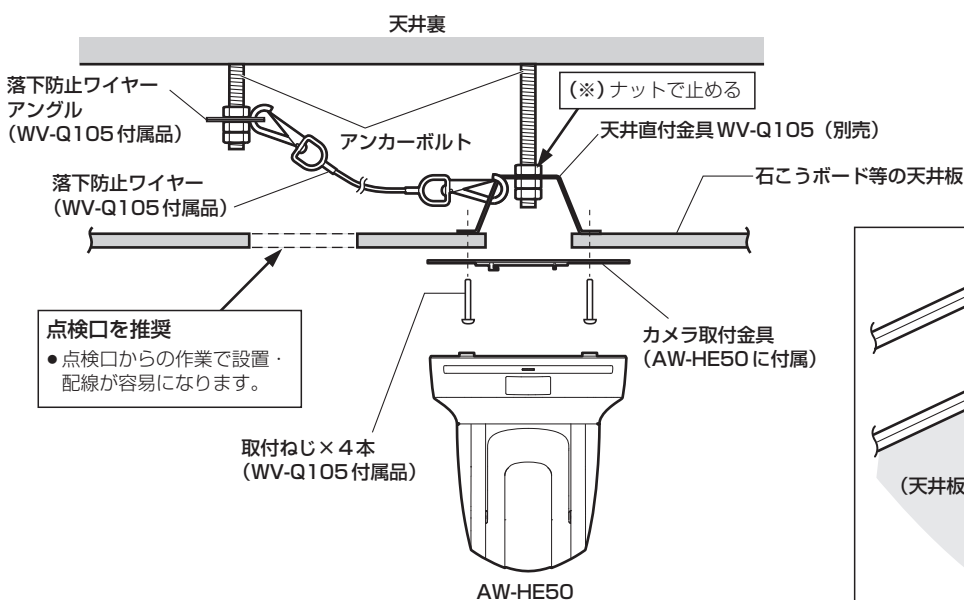
1 天井直付金具 WV-Q105 の取扱説明書を参照し、WV-Q105 および WV-Q105 に付属の落下防止ワイヤーアングル、落下防止ワイヤーをアンカーボルトに取り付ける

アンカーボルトと天井直付金具の取り付け（※）

天井直付金具と天井板とを1個所で仮止めして、天井直付金具とアンカーボルトの上下位置を規制してからナット止めすると、作業がやりやすくなります。

2 手順1で仮止めしたねじを一度外してから、天井直付金具 WV-Q105 のねじ穴に合わせて AW-HE50 のカメラ取付金具を取り付ける

- 取付ねじは、WV-Q105 に付属の取付ねじ（プラス頭 M4-L60 接着剤付きねじ）を使用してください。
- ACアダプターは、天井裏のチャンネル材の、ほこり等がたまらない下面などにしっかりと固定してください。
- 天井板等に直置きしないでください。

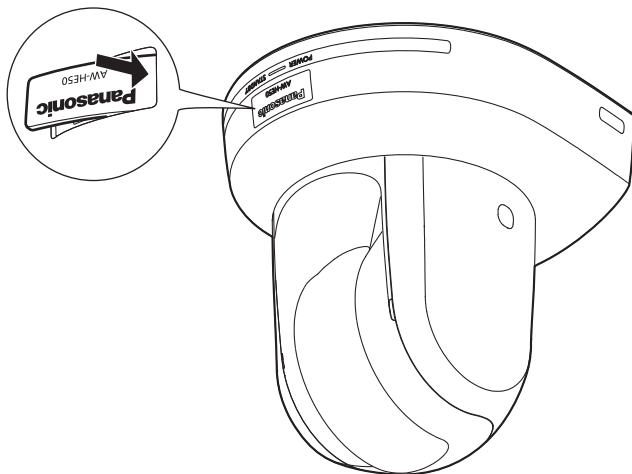


3 23 ページの手順3以降の手順に従って AW-HE50 を設置する

ネームプレートの向きを変える

本機を天井に取り付けると、ネームプレートが逆さまになってしまいます。
本機のネームプレートは、向きを変えることができます。

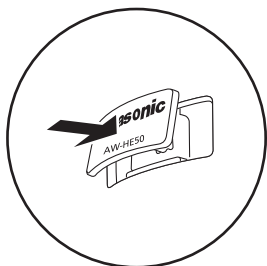
1 矢印の部分を押し込んで、ネームプレートを引き出す



2 ネームプレートの向きを変える



3 ネームプレートを押し込む



カメラの取り外しかた

1 ブレーカーや電源供給を切る

2 飾りカバーを取り外す

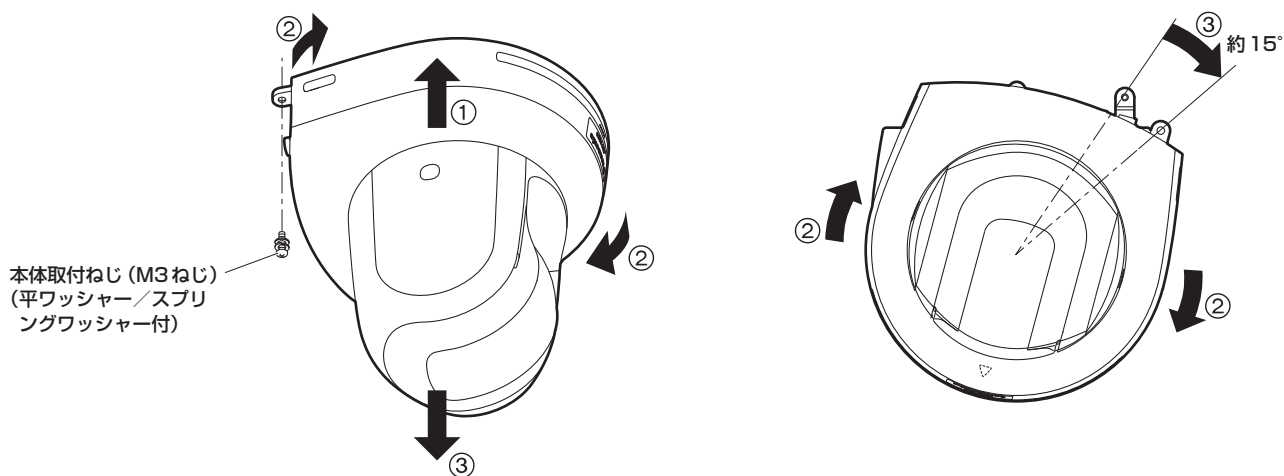
- カバーを固定している飾りカバー用ねじ (M3ねじ、1 個所) を取り外してください。
- カバーのツメの部分を押して、カバーを外してください。

3 ケーブルを取り外す

電源ケーブル、映像ケーブル、制御ケーブルなどを取り外してください。

4 本機と取付金具とを固定している本体取付ねじを取り外す

5 本機を押し込み (①)、取り付け時とは逆の方向に約 15° 回して (②)、本機を取り外す (③)。



ご注意

- 故障の原因になりますので、カメラヘッド部分を持って作業しないでください。

6 落下防止ワイヤーを取付金具より取り外す

据え置き設置のしかた (取付金具を使用する場合)

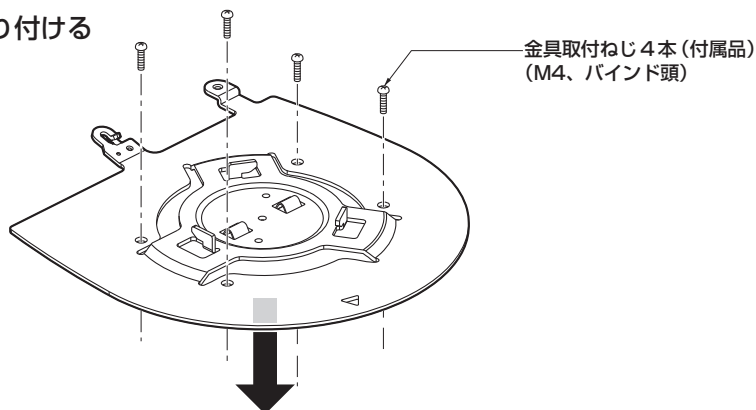
吊り下げ設置の手順 (22 ~ 25 ページ) と同様です。

1 取付スペースを確認する

ご注意

- 吊り下げ設置と同様に、本機を取り付けるスペースをよく確認してから設置場所を決めてください。

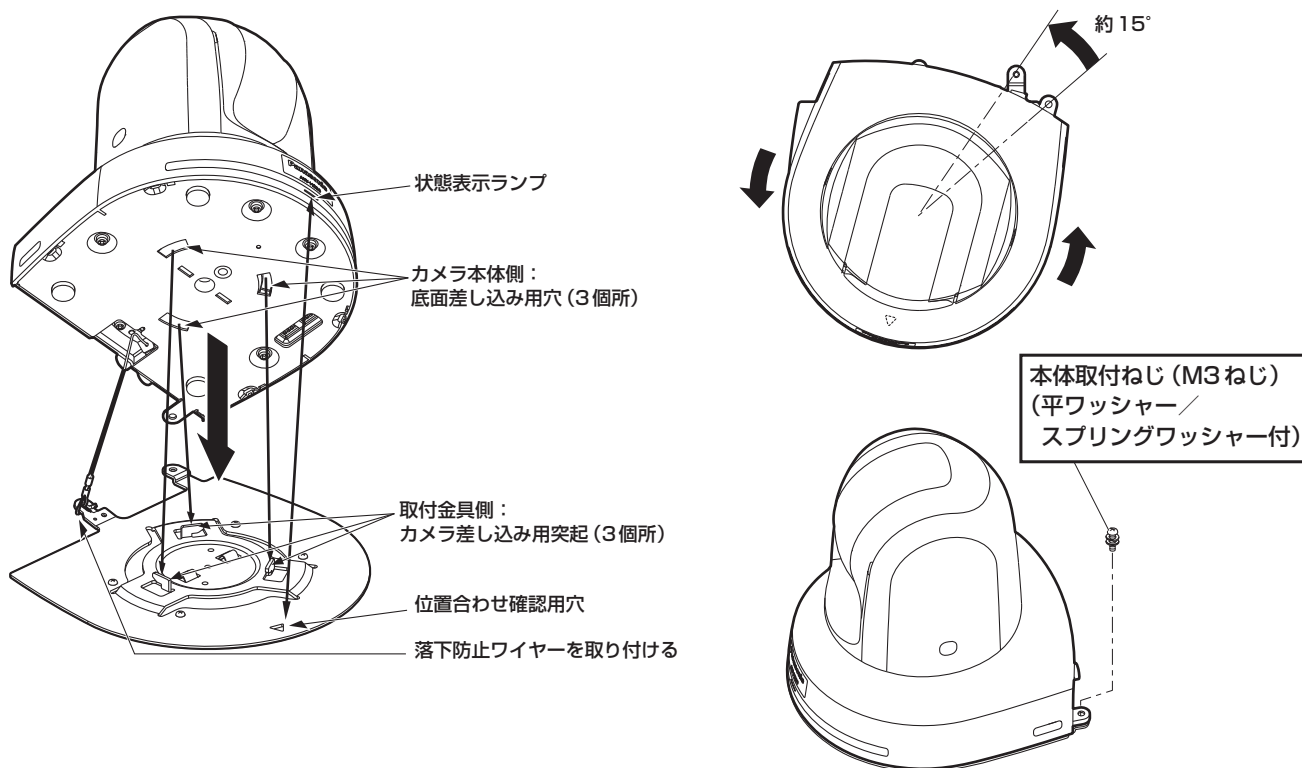
2 取付金具を設置面に取り付ける



3 落下防止ワイヤーを取り付ける

4 本機を取り付ける

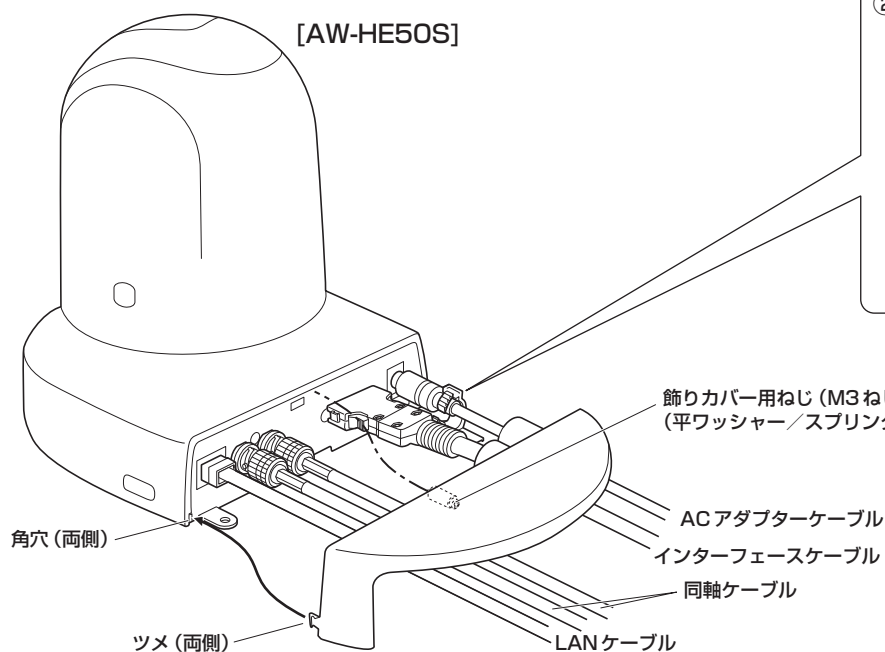
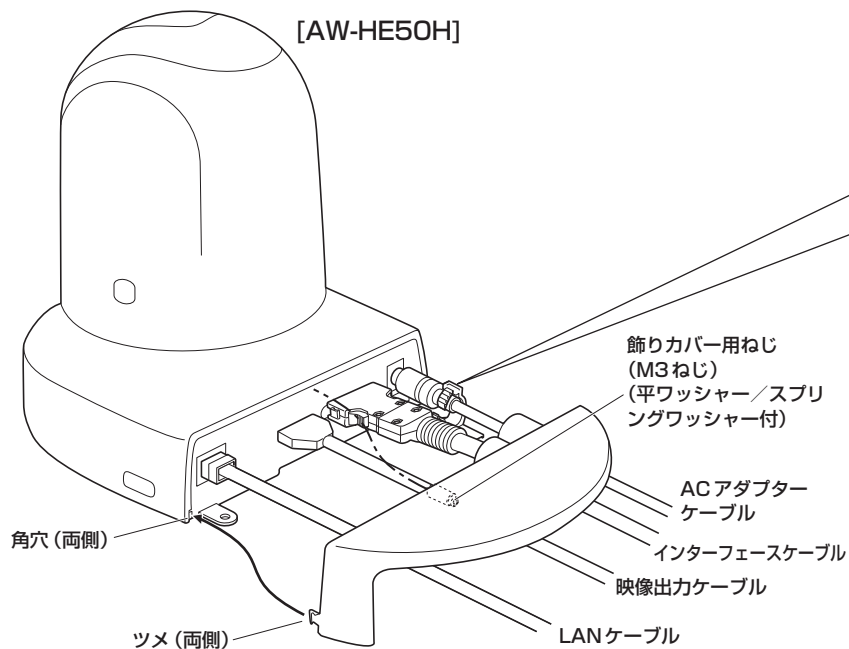
- 状態表示ランプと位置合わせ確認用穴の位置を合わせます。
- カメラ本体の底面差し込み用穴を取付金具側のカメラ差し込み用突起に合わせてしっかりと押し込み、本体を矢印の方向に約 15° 回します。
- 本機と取付金具を付属の本体取付ねじ (M3) で固定します。



据え置き設置のしかた (取付金具を使用する場合)

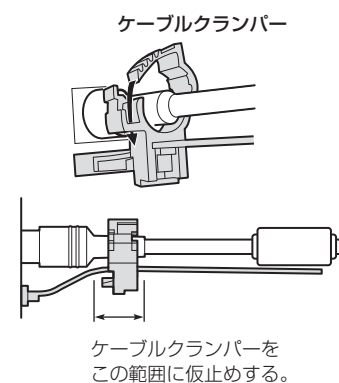
5 取り付けの確認をする

6 背面のコネクター類を接続する

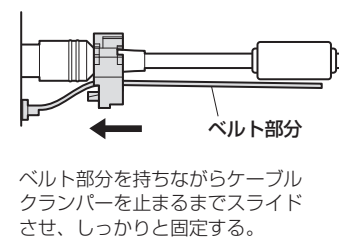


●DCプラグの固定方法

① ケーブルクランパーを仮止めする。



② ケーブルクランパーを固定する。



7 飾りカバーを取り付ける

据え置き設置のしかた (取付金具を使用しない場合)

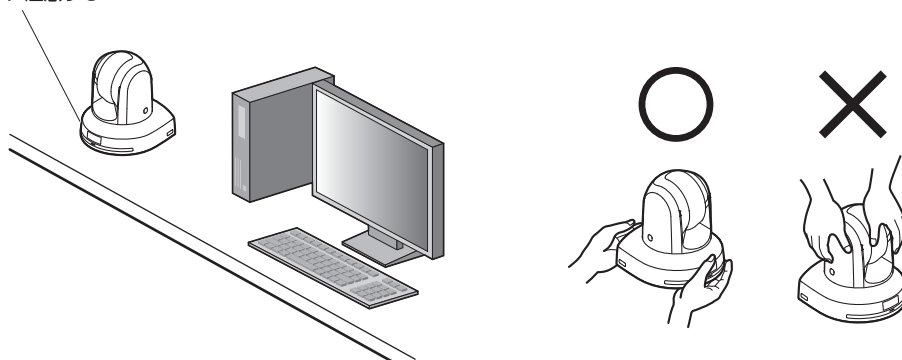
■デスクトップに設置する場合

本機は、水平に置いてください。

ご注意

- 揺れの少ない安定した場所に設置してください。設置場所の揺れにより、画揺れの原因になります。
- 設置する際は、落下等に十分気をつけてください。
- 持ち運ぶときは、カメラヘッド部を持たないでください。
- カメラヘッド部を持ったり回したりしないでください。故障の原因になります。
- 接続したケーブルを引っかけないように注意してください。落下やけがの原因になります。

落下に注意する



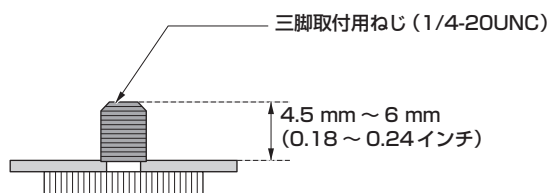
■三脚に取り付ける場合

底面のカメラ取付用ねじ穴に三脚を取り付けます。

三脚は、段差のない平面に設置します。

三脚取付用ねじを手でしっかり締め付けてください。

三脚取付用のねじは、次の規格のものを使用してください。

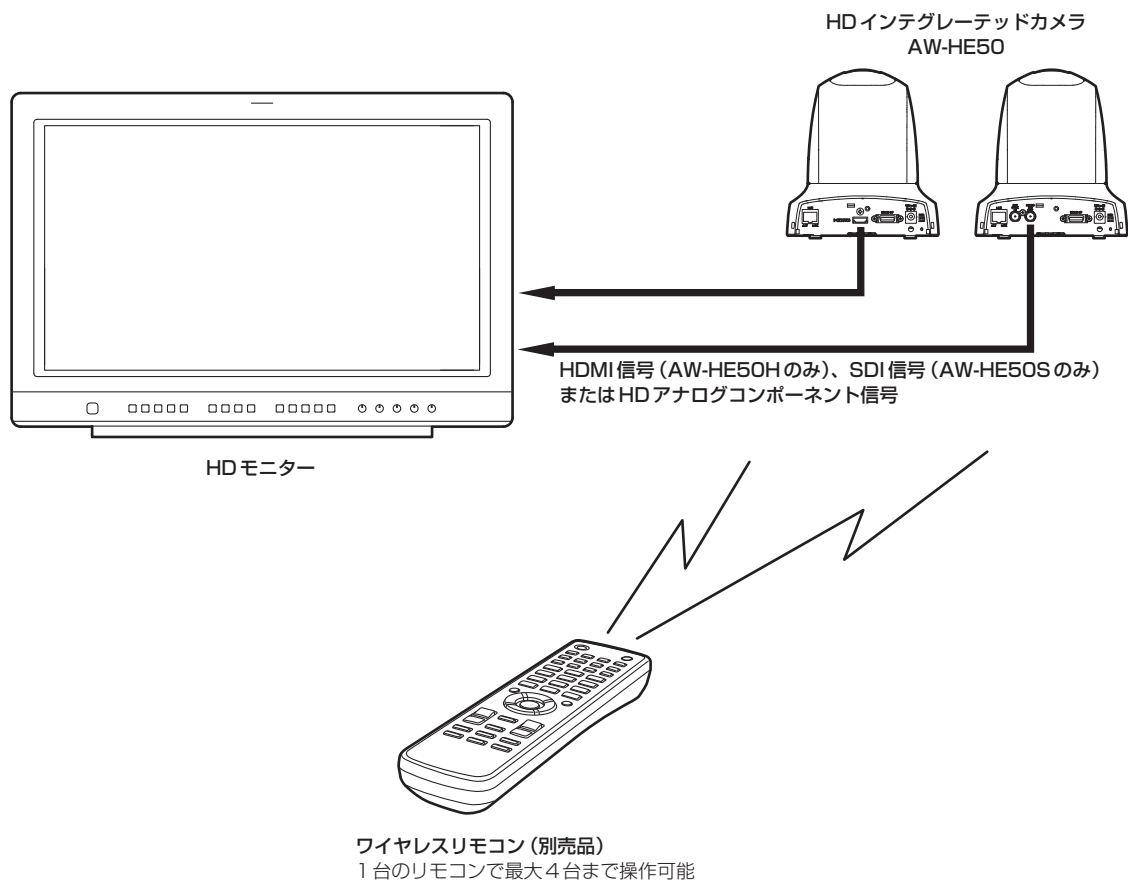


ご注意

- 人の通るところには設置しないでください。
- 三脚に取り付けて使用する場合は、高所に設置しないでください。
- ゆるみのないように、しっかりと取り付けてください。落下やけがの原因になります。
- 長期使用の場合には、転倒防止、落下防止の対策をとってください。また使用後は、速やかに片づけてください。

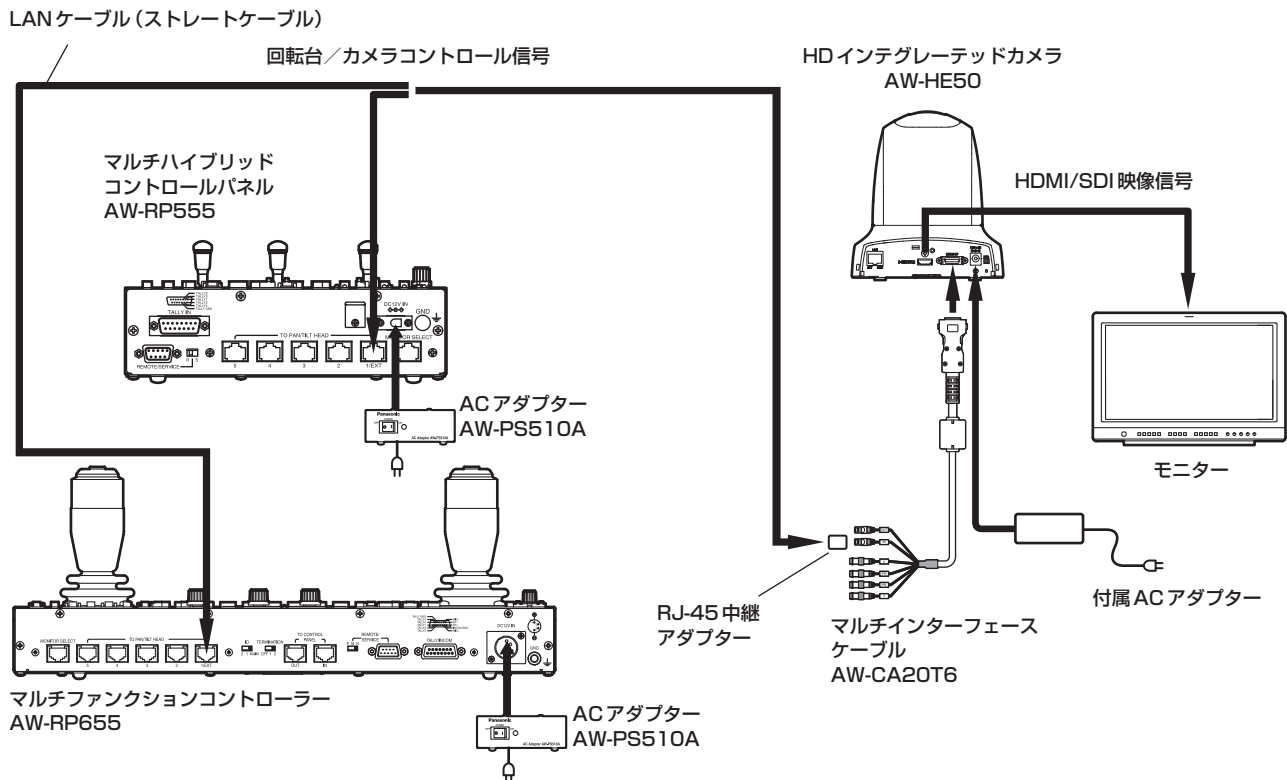
接 続

■HD モニターとの接続

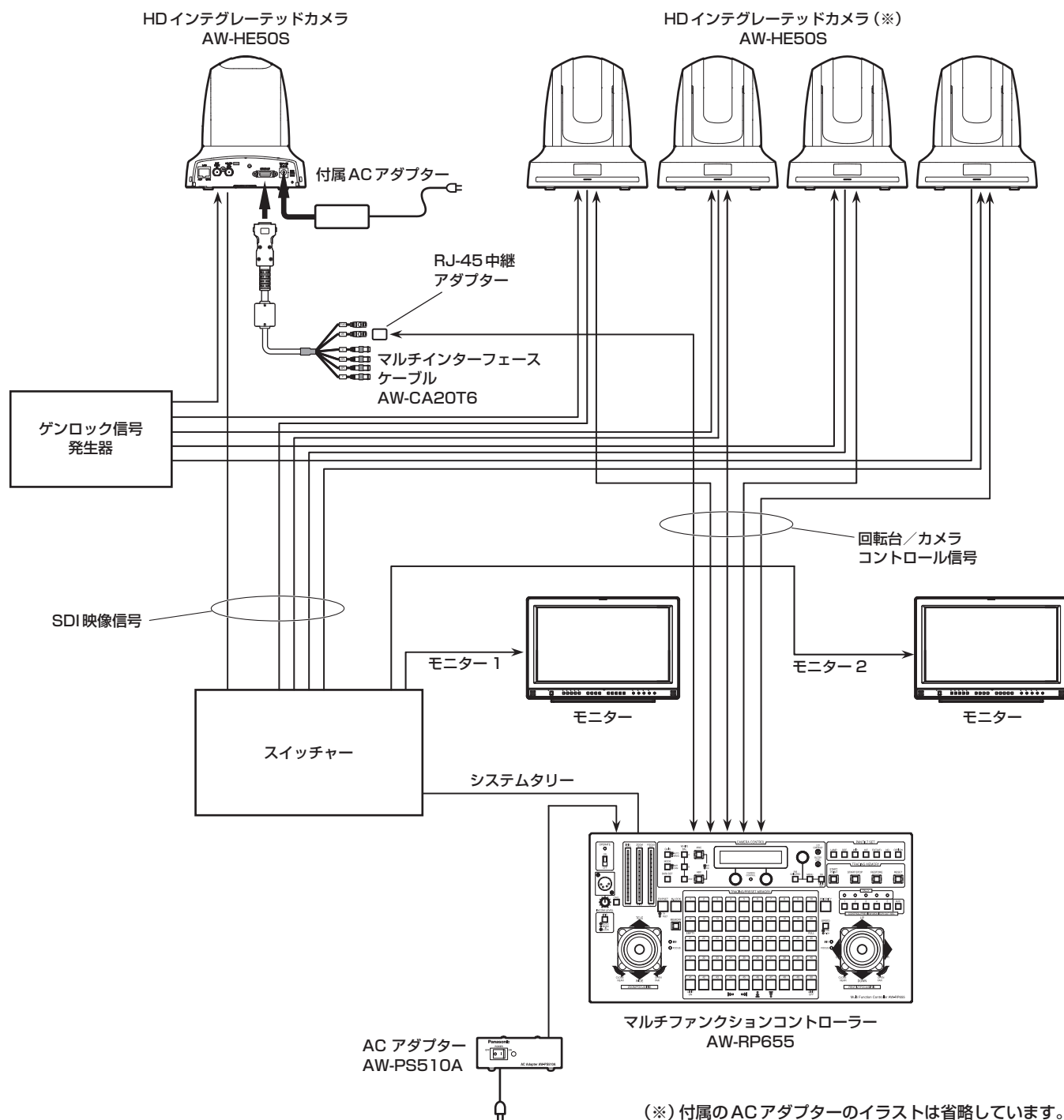


接 続

■コントローラー (AW-RP655/AW-RP555 のいずれか) との接続

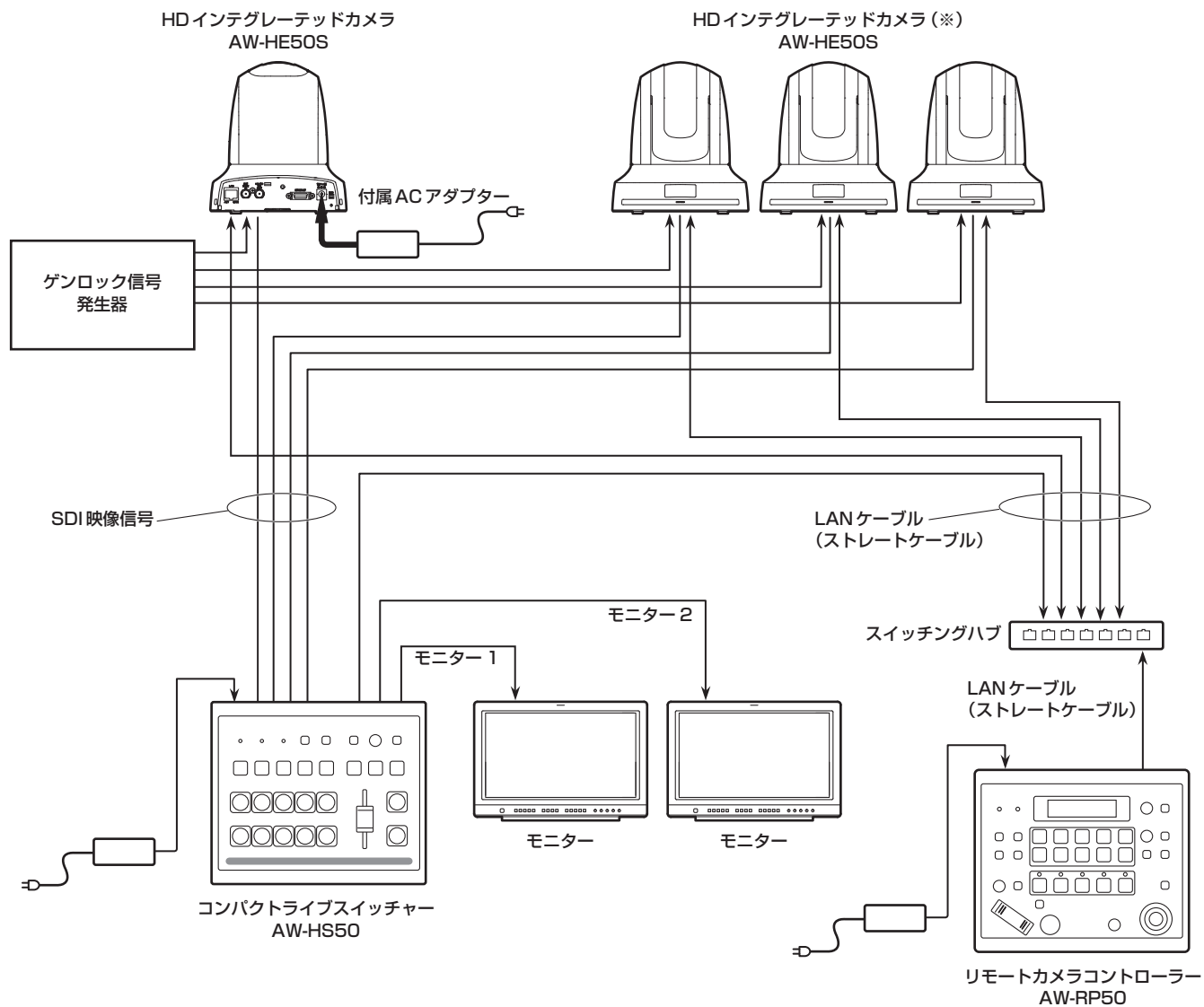


■システム例 1



- SDI出力は、AW-HE50Sのみ対応しています。
- コントロール信号を接続するには、マルチインターフェースケーブル (AW-CA20T6) が必要です。

■システム例2



(※) 付属のACアダプターのイラストは省略しています。

- SDI出力は、AW-HE50Sのみ対応しています。

ネットワークの設定を行う

■ソフトウェアをインストールする

付属CD-ROM内の「Readme.txt」を必ずお読みのうえ、ソフトウェアをインストールしてください。

CD-ROM内のソフトウェア

- **IP簡単設定ソフトウェア (EasyIPSetup.exe)**
本機のネットワーク設定を行います。詳しくは、以降の記述をお読みください。

■IP簡単設定ソフトウェアを使用して本機の設定を行う

本機のネットワークに関する設定は、付属のIP簡単設定ソフトウェアを使って行うことができます。

本機を複数台設定する場合は、カメラごとに行う必要があります。

IP簡単設定ソフトウェアを使って設定できない場合は、設定メニューのネットワークページで個別に本機とPCの設定を行います。詳しくは「取扱説明書 操作・設定編」(PDFファイル)をお読みください。

ご注意

- ネットワークの設定後、同じネットワーク内に存在する他の機器とIPアドレスが重複すると、正しく動作しません。
IPアドレスが重複しないように設定してください。
- 1台のカメラに対して複数のIP簡単設定ソフトウェアから同時にネットワークの設定を行わないでください。
また、リモートカメラコントローラー AW-RP50の「自動IP設定」の操作を同時に行わないでください。
IPアドレスの設定がわからなくなる原因になります。

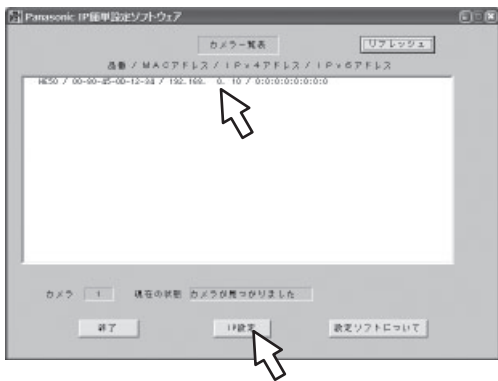
メモ

- Microsoft® Windows® XP Home Edition SP3日本語版をご使用の場合、IP簡単設定ソフトウェアを起動すると、セキュリティの重要な警告画面が表示されることがあります。
この場合は、[ブロックを解除する(U)] ボタンをクリックしてください。
- Microsoft® Windows Vista® をご使用の場合、IP簡単設定ソフトウェアを起動すると、管理者アカウントのパスワードを要求されることがあります。
この場合は、コントロールパネルから「ユーザーアカウント制御」を無効にしてください。
- IP簡単設定ソフトウェアは、セキュリティ強化のため、電源投入後、約20分以上経過すると対象カメラのMACアドレス、IPアドレスが表示されなくなります。
→ IP簡単設定有効期間の設定が「20min」の場合（操作・設定編 70 ページ）
- IP簡単設定ソフトウェアは、ルーターを経由した異なるサブネットからは使用できません。
- 旧バージョンのIP簡単設定ソフトウェア (Ver.2.xx) では、本機を表示したり設定したりすることはできません。

ネットワークの設定を行う

1 IP簡単設定ソフトウェアを起動します。

2 設定するカメラのMACアドレス／IPアドレスをクリックし、[IP設定] ボタンをクリックします。



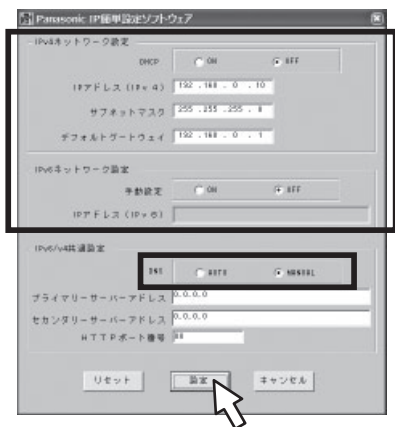
ご注意

- DHCPサーバーを使用している場合、本機に割り振られたIPアドレスは、IP簡単設定ソフトウェアの[リフレッシュ] ボタンをクリックすると確認できます。
- IPアドレスが競合している場合、該当するカメラのMACアドレスが影付きで表示されます。

メモ

- [設定] ボタンをクリック後、本機への設定が完了するまで約2分かかります。設定が完了する前にACアダプターやLANケーブルを抜くと、設定内容が無効になります。再度設定をやり直してください。
- ファイアウォール(ソフト含む)を導入している場合、UDPの全ポートに対してアクセスを許可してください。

3 ネットワークの各項目を入力し、[設定] ボタンをクリックします。



ご注意

- DHCPサーバーを使用している場合、IP簡単設定ソフトウェアの「DNS」を「AUTO」に設定することができます。

故障と思ったら

●操作関係

症 状	原因・対策	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> ● ACアダプターがACコンセントに確実に接続されていますか？ 	---
	<ul style="list-style-type: none"> ● ACアダプターの電源プラグが正しく接続されていますか？ 	---
	<ul style="list-style-type: none"> ● コントローラーと接続している場合、正しく接続されていますか？ → コントローラーの取扱説明書も参照してください。 	P.33 ~ 35
	<ul style="list-style-type: none"> ● ワイヤレスリモコンで操作の場合 → 「ワイヤレスリモコンで操作できない」の項目もご覧ください。 	---
操作できない (ワイヤレスリモコン、 コントローラー共通)	<ul style="list-style-type: none"> ● 電源は入っていますか？ → 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯の場合は、本機の電源が入っていません。 	操作・設定編 P.7
	<ul style="list-style-type: none"> ● セーフモード機能がはたらいている場合があります。 	操作・設定編 P.83
	<ul style="list-style-type: none"> ● リミッター機能を設定していませんか？ 	操作・設定編 P.81 ~ 82
	<ul style="list-style-type: none"> ● 操作したい本機を正しく選んでいますか？ 	操作・設定編 P.9
ワイヤレスリモコンで 操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池が消耗していたり、電池の極性が違っていませんか？ → ワイヤレスリモコンをワイヤレスリモコン信号受光部の近くで操作しても、状態表示ランプが点滅しない場合は、電池が消耗しています。電池を交換してください。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の近くに蛍光灯やプラズマモニターがあり、それらからの光がワイヤレスリモコン信号受光部に当たっていませんか？ 	P.16
コントローラーで 操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ● コントローラーと正しく接続されていますか？ → コントローラーの取扱説明書も参照してください。 	P.33 ~ 35
	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機に対応するためにコントローラーのバージョンアップが必要な場合があります。 → 販売店にご相談ください。 	---
操作と逆方向に回転する	<ul style="list-style-type: none"> ● 据え置き設定は正しく選択されていますか？ 	操作・設定編 P.46、P.65
	<ul style="list-style-type: none"> ● コントローラーと接続している場合、コントローラー側で逆転の設定がされている場合があります。 → コントローラーの取扱説明書を参照してください。 	---

故障と思ったら

症 状	原因・対策	参照ページ
<p>AW-RP655 と AW-RP555 で、 PAN/TILT 最低起動速度の 調整が終了しない</p>	<p>AW-HE50 との接続では PAN/TILT 最低起動速度の調整は不要ですので、調整は行わないでください。 もし調整を行おうとすると、以下のような状態になります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● AW-RP655 の場合： LCD 上で、PAN/TILT 最低起動速度の右側を調整中の表示のまま、次の調整（上→左→下）に移行しない → [MENU] ボタンを押して、PAN/TILT 最低起動速度の調整を中断してください。 ● AW-RP555 の場合： [MEMORY] ボタンと [MODE] ボタンの点滅が止まらない → ジョイスティックの操作をして、PAN/TILT 最低起動速度の調整を中断してください。 	<p>---</p>
<p>Web 設定画面に アクセスできない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● IP 制御用 LAN 端子にカテゴリ 5 以上の LAN ケーブルは接続されていますか？ ● IP 制御用 LAN 端子の [LINK] LED は点灯していますか？ → 点灯していない場合は、LAN に正常に接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。LAN ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。 ● 電源は入っていますか？ → 本機の状態表示ランプが消灯、または橙色に点灯の場合は、本機の電源が入っていません。 ● 本機に有効な IP アドレスは設定されていますか？ ● 間違った IP アドレスにアクセスしていませんか？ → 次の方法で接続を確認してください。 Windows のコマンドプロンプトで > ping [本機に設定した IP アドレス] で、本機から Reply が返ってくれば、正常に動作しています。 Reply が返ってこない場合は、次の操作を行ってください。 ・ 本機を再起動し、20 分以内に IP 簡単設定ソフトウェアを使って、IP アドレスを変更する。 ● HTTP ポート番号に 554 を設定していませんか？ → HTTP ポート番号は、本機で使用する下記以外のポート番号を使用してください。 20、21、23、25、42、53、67、68、69、110、123、161、162、554、995、10669、10670、59000～59999、60000～61000 	<p>P.33～35</p> <p>P.33～35</p> <p>操作・設定編 P.7</p> <p>操作・設定編 P.69～70</p> <p>---</p> <p>操作・設定編 P.70</p>

故障と思ったら

症 状	原因・対策	参照ページ
Web 設定画面にアクセスできない	<ul style="list-style-type: none"> ● 設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ 設定したアドレスと設置先のネットワーク・サブネットが矛盾していませんか？ → [同一サブネット内に本機とPCが接続されている場合] 本機とPCのIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか？また、Web ブラウザーで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？ 同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをおすすめします。 [本機とPCが異なるサブネットに接続されている場合] 本機に設定したデフォルトゲートウェイの値は間違っていますか？ 	<p>----</p> <p>操作・設定編 P.70</p>
Web 設定画面の設定値がうまく更新されない、表示されない	<ul style="list-style-type: none"> ● PCのキーボードの[F5]キーを押して、設定値の取得要求を行ってください。 	<p>----</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● 以下の手順でインターネット一時ファイルを削除してください。 ① Internet Explorerで[ツール]→[インターネットオプション]を選択する。 ② 「インターネット一時ファイル」の[ファイルの削除]ボタンをクリックする。 	<p>----</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● インターネット一時ファイルの設定において、「保存している新しいバージョンの確認」が「ページを表示するごとに確認する」に設定されていない場合、Web 設定画面がうまく表示されないことがあります。 → 以下の手順を行ってください。 ① Internet Explorerで[ツール]→[インターネットオプション]を選択する。 ② Internet Explorer 7.0の場合 「閲覧の履歴」の[設定]ボタンをクリックし、「保存しているページの新しいバージョンの確認」で「Web サイトを表示するたびに確認する」を選択する Internet Explorer 6.0の場合 「インターネット一時ファイル」の[設定]ボタンをクリックし、「保存しているページの新しいバージョンの確認」で「ページを表示するごとに確認する」を選択する 	<p>----</p>
設定ファイルのダウンロードができない	<ul style="list-style-type: none"> ● ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 → 本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。 	<p>----</p>
	<ul style="list-style-type: none"> ● ファイルのダウンロード機能が無効になっていませんか？ → Internet Explorerの「セキュリティの設定」画面（[インターネットオプション]→[セキュリティ]）にて「このゾーンのセキュリティのレベル」の[レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックし「ファイルのダウンロード」と「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」を有効にしてください。 	<p>----</p>

故障と思ったら

●映像関係

症 状	原因・対策	参照ページ
映像が出ない、乱れる	● 接続した機器と正しく接続されていますか？	P.32 ~ 35
	● 操作するカメラを選ぶと映像も切り替えるシステム構成の場合、カメラを正しく選んでいますか？	操作・設定編 P.9
	● 映像信号設定は正しく選択されていますか？	操作・設定編 P.43、P.64
映像が上下逆になる	● 据え置き設定は正しく選択されていますか？	操作・設定編 P.46、P.65
複数の色の帯（カラーバー）が表示される	● カメラ映像に切り替えてください。	操作・設定編 P.13
メニュー画面が表示される	● メニューを終了してください。	操作・設定編 P.30 ~ 37
メニュー画面が見にくい	<ul style="list-style-type: none"> ● お使いのHDMIモニターによっては、下記のような現象が見られる場合があります。特にSDフォーマットでは、この現象が顕著に見られますが、異常ではありません。 <ul style="list-style-type: none"> ・メニュー表示の文字の解像度が背景の映像変化によって変化する ・モニター側の輪郭強調によって、メニューの黒影の前に白い線が出る ・モニター側の輪郭強調によって、メニューの白部分に背景の色が載る 	---
自動でフォーカスが合わない	<ul style="list-style-type: none"> ● フォーカスがマニュアル設定になっていませんか。 <ul style="list-style-type: none"> → フォーカスをオート設定にすると自動でフォーカスが合います。 	操作・設定編 P.13
	<ul style="list-style-type: none"> ● 場面によってはオート設定ではフォーカスが合いにくい場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> → その場合はマニュアル設定にして手動でフォーカスを合わせてください。 	操作・設定編 P.15
マニュアルフォーカスのとき、ズーミングでフォーカスが合わない	<ul style="list-style-type: none"> ● テレ端でフォーカスは調整されましたか？ <ul style="list-style-type: none"> → フォーカス精度の高いテレ端でフォーカス調整後、ズーミングしてください。 	---
	<ul style="list-style-type: none"> ● 使用条件によっては、フォーカスが合いにくい場合があります。 <ul style="list-style-type: none"> → その場合はフォーカスをオート設定で使用してください。 	操作・設定編 P.13

故障と思ったら

症 状	原因・対策	参照ページ
映像の四隅にリング状の映り込みがある	<ul style="list-style-type: none"> ● レンズとその前面にあるカバーとの間での光の反射によるものです。照明との位置関係を工夫して、映り込みが発生しない場所に設置して使用してください。 	---
映像の色がおかしい	<ul style="list-style-type: none"> ● ATW（自動追尾式ホワイト調整）を有効にしてください。 	操作・設定編 P.24
	<ul style="list-style-type: none"> ● 場面によってはATWでは正しい色にならない場合があります。 → その場合はホワイトバランス調整を行ってください。 	操作・設定編 P.22～24
映像が明るすぎる、または暗すぎる	<ul style="list-style-type: none"> ● アイリスをオート設定にするか、マニュアル設定にして手動で調整してください。 	操作・設定編 P.16
	<ul style="list-style-type: none"> ● 映像信号用ケーブルが長いと、信号の減衰のために映像が暗くなる場合があります。 	---
被写体がゆがんで見える	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機はMOS撮像素子を使用しているため、被写体がすばやく横切った場合、少しゆがんで見えることがありますが、故障ではありません。 	---
撮影中にフラッシュをたくと、画面の上側あるいは下側だけが明るくなる	<ul style="list-style-type: none"> ● MOS撮像素子では、画面の左上と右下では撮像タイミングが少し異なるため、フラッシュをたくとそのフィールドでは下側が明るくなり、次のフィールドでは上側が明るくなります。これは故障ではありません。 	---
明るさが周期的に変わったり、色が変化したり、横じまが流れて見えたりする	<ul style="list-style-type: none"> ● 蛍光灯や水銀灯などの放電管による照明下で発生することがあります。（フリッカー） このようなときは電子シャッタースピードを、電源周波数50 Hzの地域では1/100に、電源周波数60 Hzの地域では電子シャッターをOFFに設定することをおすすめします。 	---
細かい線や周期的な模様を撮影したとき、ちらついて見えたり、色がついたりする	<ul style="list-style-type: none"> ● 撮像素子上で画素が規則正しく配列されているため発生します。被写体の空間周波数と画素ピッチが近づくと目立ちますので、アングルを変えるなどしてください。 	---

故障と思ったら

●Web 設定

お使いのPCのOSによっては、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響を与えたりセキュリティ低下をおよぼしたりすることはありません。

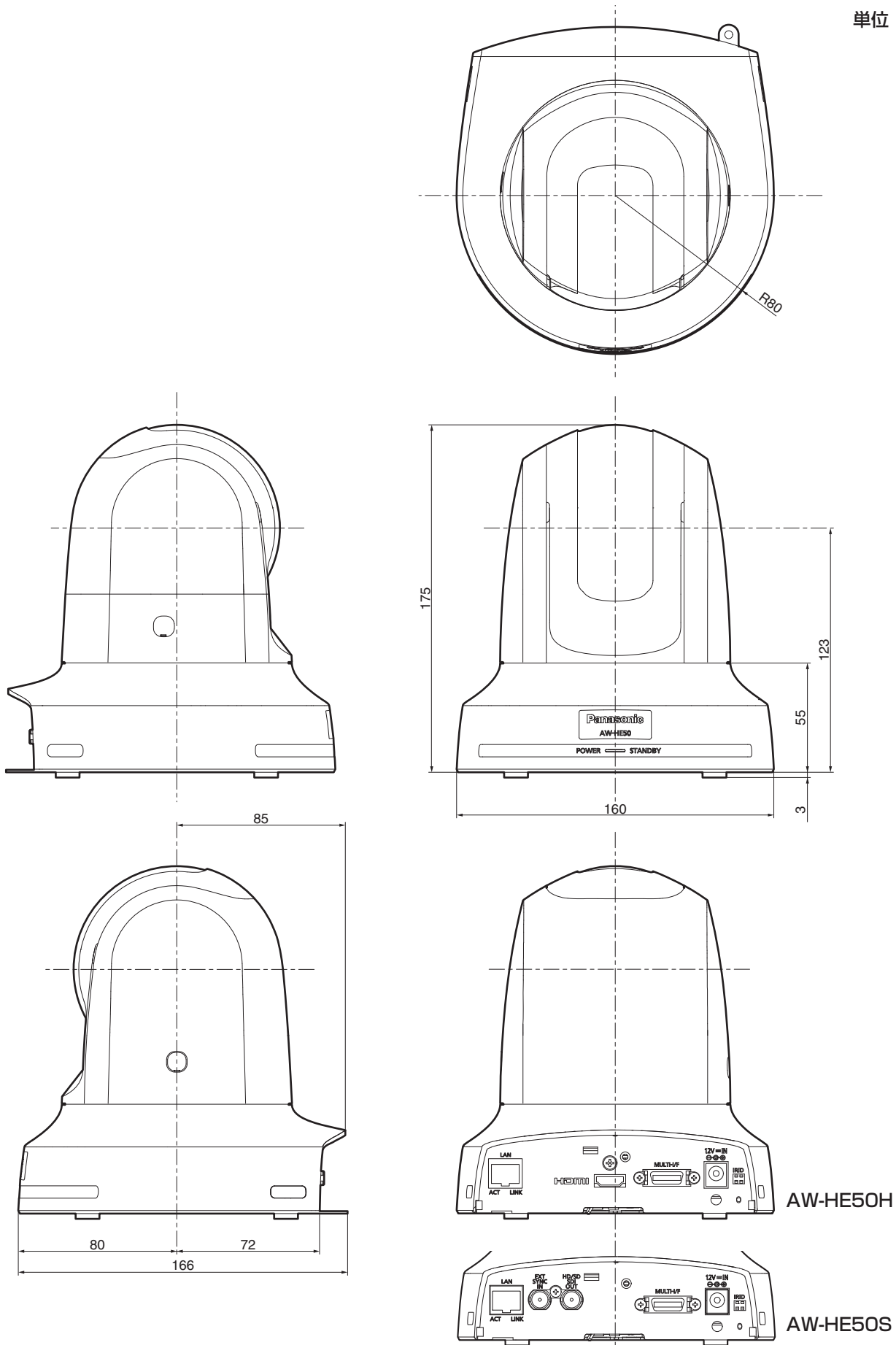
現象、対応方法で使用している「情報バー」とは、Internet Explorerのアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。



症 状	原因・対策	参照ページ
下記メッセージの情報バーが表示される 「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください...」	<ul style="list-style-type: none">● 情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に表示 (A)...」を選択してください。このサイトのポップアップを許可しますか？画面が表示されますので、「はい (Y)」ボタンをクリックしてください。	---
ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される	<ul style="list-style-type: none">● Internet Explorerのセキュリティの設定画面を開き、[インターネット]を選択します。[レベルのカスタマイズ]ボタンをクリックし、「その他」の「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウインドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。 警告画面が表示されますので、「はい (Y)」ボタンをクリックしてください。	---

外形寸法图

单位：mm



定 格

電源電圧 : DC 12 V \pm 10 % (ACアダプター添付)
消費電流 : 1.2 A (AW-HE50H)
1.3 A (AW-HE50S)

 は安全項目です。

■総合

動作周囲温度 : 0 °C ~ +40 °C
保存温度 : -20 °C ~ +50 °C
許容湿度 : 20 % ~ 90 % (結露なきこと)
質量 : 約 1.4 kg

寸法 (幅 × 奥行 × 高さ)

: 160 × 166 × 178 mm
(突起部、飾りカバー、天井直付金具を
除く)

仕上げ : つや消しライトシルバー

対応コントローラー

: AW-RP655、AW-RP555、AW-RP50
● コントローラーは、本機に対応するた
めのバージョンアップが必要な場合が
あります。

■入力

入力端子 : DC 12 V IN、
EXT SYNC IN (BNC) (AW-HE50Sのみ)
● BBS (Black Burst Sync) に対応

■出力

映像出力 :

[AW-HE50H]	HDMI : HDMI コネクター
[AW-HE50S]	SDI : SMPTE292M/SMPTE259M 準拠 / 75 Ω (BNC \times 1)
[両モデル共通]	コンポジット : 1.0 V [p-p] / 75 Ω (MULTI-I/F \times 1) Y/Pr/Pb [HD] Y: 1.0 V [p-p] / 75 Ω 、 Pr · Pb: 0.7 V [p-p] / 75 Ω (MULTI-I/F \times 1) [SD] Y: 1.0 V [p-p] / 75 Ω 、 Pr · Pb: 0.7 V [p-p] / 75 Ω (MULTI-I/F \times 1)

● Y/Pr/Pbは、フォーマット設定によって 1080/720/
SDが切り替わります。

■入出力

入出力端子 : IP制御用LAN端子 (RJ-45)
CONTROL IN RS422A (MULTI-I/F)

定 格

■機能／性能

【カメラ部】

撮像素子 : 1/3型Full-HD MOS
レンズ : 電動18倍ズームF1.6～2.8
(f=4.7～84.6 mm 35 mm換算 :
36.9 mm～664.5 mm)

フォーカス : オート/マニュアル切替

フォーカス距離
: ズーム全域 : 1.5 m
Wide端 : 30 cm

色分解光学系 : オンチップカラーフィルター方式

最低照度 : 3 lx (50 IRE, F1.6, +36 dB)

水平解像度 : 850 TV本Typ (中心部)

ゲイン切替 : Auto, 0 dB, 3 dB, 6 dB, 9 dB,
12 dB, 15 dB, 18 dB

蓄積モード : 0 dB, 6 dB, 12 dB, 18 dB

電子シャッター
: 1/100, 1/250, 1/500, 1/1000,
1/2000, 1/4000, 1/10000
シンクロスキャン : 60.24 Hz～
646.21 Hz

ガンマ : Off, Normal (Low, Mid, High),
Cinema

ホワイトバランス
: AWB A, AWB B, ATW

クロマ量可変 : 7段階可変

シーンファイル
: フルオート、マニュアル1、マニュアル2、
マニュアル3

カラーバー : FULL BAR

出力フォーマット
: HD 1080 : 59.94i
720 : 59.94p
SD 480 : 59.94i

同期方式 : [AW-HE50H] 内部同期
[AW-HE50S] 内部/外部同期 (BBS)

【回転台部】

据付方法 : 据え置きまたは吊り下げ
● 安全のため、付属の取付金具にて
固定が必要です。

カメラ/回転台コントロール :

IP接続ケーブル	ハブ(HUB)経由の場合 LANケーブル*(カテゴリー5以上、 ストレートケーブル)最大100 m ハブ(HUB)を使用しない場合 LANケーブル*(カテゴリー5以上、 クロスケーブル)最大100 m
RP接続ケーブル	LANケーブル*(カテゴリー5以上、スト レートケーブル)最大1000 m (制御のみ:映像信号の延長には外部機器 などでの対応が別途必要です)
プロトコル	RS422A AWシリーズプロトコル

※ STP (Shielded Twisted Pair) を推奨

PAN/TILT動作スピード
: 最高速90°/s以上

PAN動作範囲: ±175°

TILT動作範囲: +90°～-30°

- PAN、TILTの位置によっては、
本体が映像に映りこむことがありま
す。

静粛性 : NC35 (通常速度)、
NC40 (プリセット時)

■ACアダプター

入力 : AC 100 V～240 V, 1.5 A,
50/60 Hz

出力 : DC 12 V, 2.5 A, 30 W

付属の電源コードは、定格がAC 125 V以下です。
AC 100 Vのコンセントに接続してください。

■別売品

- ワイヤレスリモコンAW-RM50G
(単3乾電池×2、電池は別売)
- 天井直付金具WV-Q105
- マルチインターフェースケーブルAW-CA20T6G

保証とアフターサービス (よくお読みください)

修理・お取り扱い・お手入れなどのご相談は・・・

まず、お買い上げの販売店へお申し付けください。

■保証書 (別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのと、保管してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■補修用性能部品の保有期間 **7年**

当社は、このHDインテグレートッドカメラの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

まず電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店へご連絡ください。

●保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

●保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により修理させていただきます。下記修理料金の仕組みをご参照のうえ、ご相談ください。

●修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製品名	HDインテグレートッドカメラ
品番	AW-HE50HN AW-HE50SN
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

保証とアフターサービス (よくお読みください)

長期間使用に関するお願い

安全にお使いいただくために、販売店または施工業者による定期的な点検をお願いします。

本機を長年お使いの場合、外観上は異常がなくても、使用環境によっては部品が劣化している可能性があり、故障したり、事故につながることもあります。

下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 煙が出たり、こげくさいにおいや異常な音がする。
- 電源コード・電源プラグ・ACアダプターが異常に熱い。または割れやキズがある。
- 製品に触るとビリビリと電気を感じる。
- 電源を入れても、映像や音*が出てこない。
- その他の異常・故障がある

※音声対応していないモデルもあります。

直ちに使用を中止してください

故障や事故防止のため、**電源を切り**、必ず販売店または施工業者に**点検**や**撤去**を依頼してください。

高所設置製品に関するお願い

安全にお使いいただくために、1年に1回をめやすに、販売店または施工業者による点検をおすすめします。

本機を高所に設置してお使いの場合、落下によるけがや事故を未然に防止するため、下記のような状態ではないか、日常的に確認してください。

特に10年を超えてお使いの場合は、定期的な点検回数を増やすとともに買い換えの検討をお願いします。

詳しくは、販売店または施工業者に相談してください。

このような状態ではありませんか？

- 本機を使用せずに放置している。
- 取付ねじがゆるんだり、抜けたりしている。
- 取付部がぐらぐらしたり、傾いたりしている。
- 本機および取付部に破損や著しいさびがある。

直ちに使用を中止してください

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**撤去**を依頼してください。

事故防止のため、必ず販売店または施工業者に**点検**を依頼してください。

Memo

A series of horizontal dashed lines for writing.

パナソニック株式会社 プロフェッショナルAVビジネスユニット

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎(06)6901-1161

©Panasonic Corporation 2011